

赤い羽根共同募金

今ある活動を「そだてる」助成(令和 2 年度～令和 4 年度)



人生会議について学び、エンディングノートを通じて自分の考えをまとめよう！
～アドバンス・ケア・プランニングの正しい理解とエンディングノートの普及に関する事業～

成果報告書

令和 6(2024)年 4 月



一般社団法人 桐生市医師会

【活動期間及び配分額】

期	活動期間	配分額
第一期	令和3年4月1日～令和4年3月31日	954,000円
第二期	令和4年4月1日～令和5年3月31日	1,000,000円
第三期	令和5年4月1日～令和6年3月31日	1,000,000円
計	令和3年4月1日～令和6年3月31日	2,954,000円

【課題認識と解決の目標】

(1)課題認識

平成30(2018)年に厚生労働省がアドバンス・ケア・プランニング(Advance Care Planning)(以下、ACPとする)の愛称として「人生会議」を発表した。日本におけるACPは人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドラインに強い影響を受けており、医療的な側面がとても強いのが現状である。

平成29(2017)年に厚生労働省が実施した、「人生の最終段階における医療に関する調査」では、ACPについて知らないと回答した人が75%を超える反面、このような話し合いを進めることについては65%程度が賛成と回答している。(回答は専門職除く)。

ACPと同様のカテゴリにある終活やエンディングノートについては、Commercial Message(CM)やCommercial Film(CF)などテレビの影響を受ける形でACPよりも一般的に認知度が高い傾向にある。楽天インサイト株式会社が令和元(2019)年に実施した「終活に関する調査」では、エンディングノートを認知している人は82%を超えていた。しかし、エンディングノートを用意していない人は86%、遺書を用意していない人は90%となっており、認知率は高いものの活用率は低いことが明らかとなっている。

今般、共同募金助成を受けるにあたり、令和2年度に作成した申請事業・活動の目標設定シートでは以下の2点を困りごととしてあげた。

- ①終末期をイメージさせる単語が多いことからマイナスイメージを抱く人も多い。
- ②エンディングノートについては、マイナスイメージの影響からか認知度とは反対に活用度はとても低い状態となっている。そのため意思表示ができなくなった場合等において、「自分の生き方や考え方」を誰も知らず、家族等がその重責を担うことが多くなっている。

(2)解決の目標

この事業における目標の最終到達地点は「意思決定」である。自分が自分らしく生きること、自分の人生感や生活における考え方をきちんと誰かに伝えられること、または伝えるということがどれだけ大切なのかを知ってもらうこと、などがその要因となってくる。

キーワードに「人生の最終段階の」と入っている時点で、どうしても「死」を意識・イメージしてしまうことは避けられない。社会的にそのような状況の中でACPやエンディングノートをどのように普及啓発し、上記(1)の課題認識を解決するためにはどうしたらよいか、その目標を以下のように定めた。

なお、以下の記載は令和2年度に作成した申請事業・活動の目標設定シートの目指す社会像、障壁・問題、解決の目標を再編集したものである。

マイナスイメージの強いACPやエンディングノートについて「正しい理解」を広め、考え方が社会的に「これは特別なことではなく普通のことだよね」と認識されるまでには長期的・継続的な啓発活動が必要とな

る。正しい理解が社会的に浸透すれば、人生の最終段階の医療を含む自分らしい考え方ができるようになるのではないかと仮定している。そういった考え方が浸透すれば、「伝える」ためにエンディングノートの活用が進み、自分の生き方や考え方について記録できるような雰囲気になるのではないだろうかと考えている。

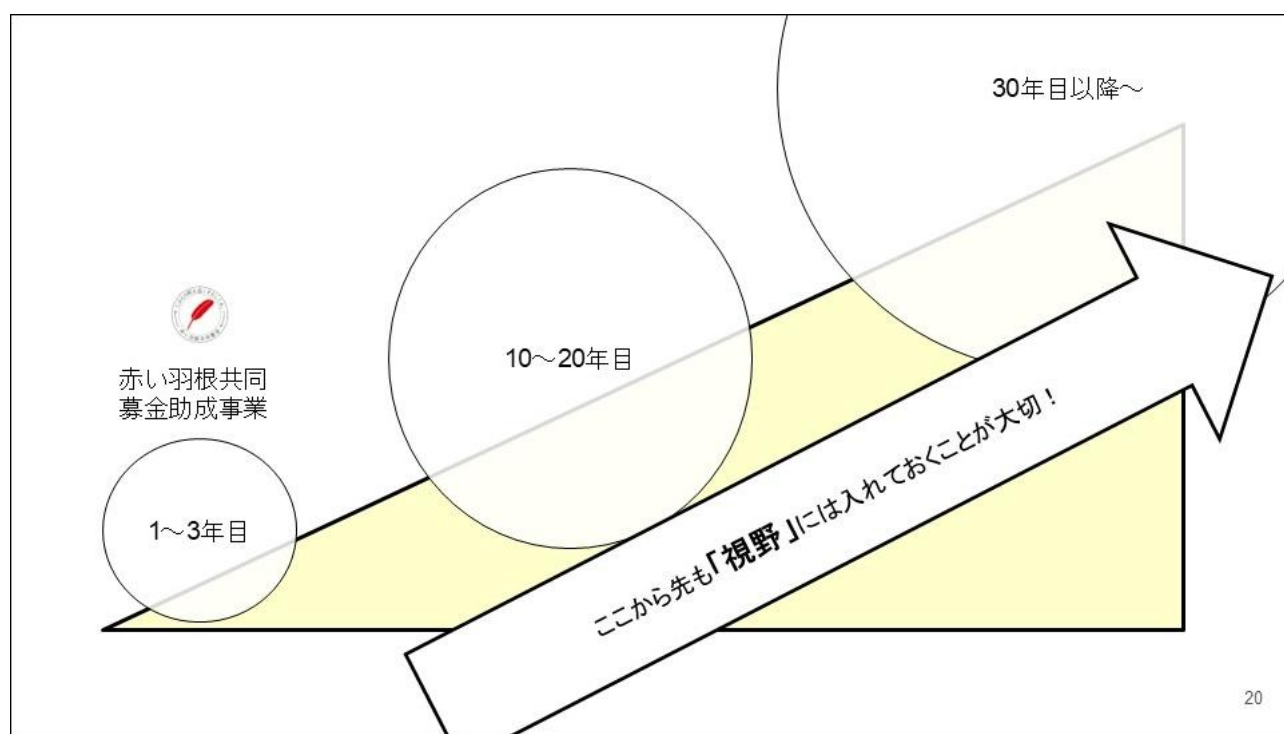
同様の歴史がある「認知症」は認知症サポーター養成講座などその正しい知識を伝えるためのシステムが構築されているのと比較し、ACP やエンディングノートについてはそういったシステムがなく、講師役を担う人材も少ない。

そのため本事業では、解決の目標として以下の2点をあげた。

- ①多くの方が参加できる「講座」のシステムを構築する。新しい生活様式に対応した開催方法を検討するとともに、オンラインでの講座開催の体制についても整備する。
- ②ACP(人生会議)やエンディングノートに関する講座の講師を担える人材の育成を行う。

(3)3年間の事業で目指す成果

(2)でも触れたように、この事業における目標の最終到達地点は「意思決定」である。なお、最終到達地点とは3年後の成果ではないことを申し添える。赤い羽根共同募金における本事業は「3年間」の計画であるが本事業はその後も継続するものである。ここでいう「最終目標到達地点」とは20年後、30年後に達成すべき目標である。

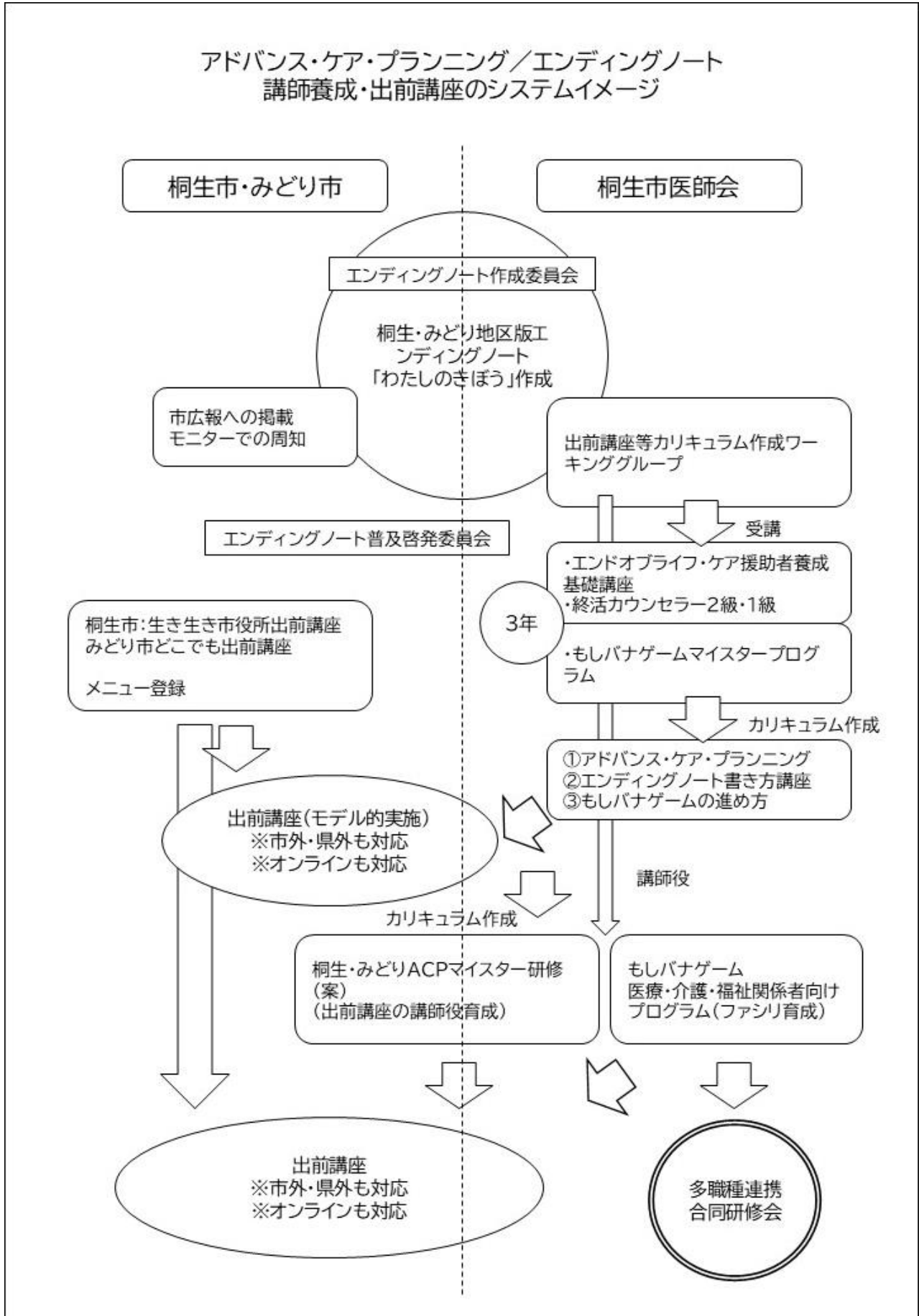


(参考)2022.7.29 助成申請説明会 活動実践報告資料より抜粋(P20)

3年後も事業継続をするということを視野にいれた状態で、3年後の目指す成果を以下のように定めた。

- ①多くの方が講座を受講できる機会が確保できる。
- ②ACP(人生会議)の正しい知識が普及でき皆さんにとって身近なものとなる。
- ③自身のことについて考える時間や家族・親しい人と話し合う機会が増加する。
- ④桐生・みどり地区において ACP やエンディングノートについて普及啓発を担う人材を継続的に増やしていくことができる。

【事業の全体イメージ】※下記資料は事業の3年目に作成したもの



【3年間の取り組み】

<1年目>

第一期(1年目・令和3年度)は、「継続して普及啓発活動を実施できる体制作り」を重点事項として事業を展開した。具体的には出前講座の講師役を担うことが可能となる人材の育成・排出ができるシステム構築に取り組んだ。人材育成としては、専門研修(エンドオブライフ・ケア援助者養成基礎講座、終活カウンセラー、もしバナマイスター等)への受講を行った。

出前講座等で説明内容が平均化されたものとなるようモデルスライドを作成することを目的として、出前講座等カリキュラム策定ワーキンググループを立ち上げ3種のモデルスライドを作成した。また、普及啓発の方法について検討するためエンディングノート普及啓発委員会を開催した。

この年度は新型コロナウイルス感染症の影響をまだ受けている時期であり、集合での出前講座や研修が開催できないことを想定して、オンライン対応のための体制整備を行った。令和3年度ではオンラインでの出前講座を1回、ハイフレックスでの出前講座を1回開催した。

計画では「もしバナゲームのワークショップ」を開催する予定だったが、講師派遣元が新型コロナウイルス感染症の拡大防止策として派遣を中止していたため実施には至らなかった。そのため、試験的にオンラインでのもしバナ体験会を実施した。

[もしバナゲームオンライン体験会]

回	年月日	内容
1	令和3年4月22日	もしバナゲームオンライン(菅野モデル)の体験会

[出前講座等カリキュラム策定ワーキンググループ]

回	年月日	内容
1	令和3年5月28日	専門研修の受講について、令和3年度の方向性について
2	令和3年9月10日	専門研修の受講について、モデルスライドについて
3	令和4年3月9日	モデルスライドについて、令和4年度の方向性について

※出前講座等カリキュラム作成ワーキンググループでは、出前講座で使用するモデルスライド(アドバンス・ケア・プランニングについて、エンディングノート書き方講座、もしバナゲームの進め方の3種類)を作成した。

[エンディングノート普及啓発委員会]

回	年月日	内容
1	令和3年11月29日	WG、出前講座、モデルスライド、わたしのきぼうの配布について

[新しい生活様式・オンライン対応のための体制整備]

物品の整備を行ったことで以下の内容について対応が可能となった。

- ①オンラインによる出前講座(Zoom ミーティング使用)
- ②オンデマンドによる動画配信/ライブ配信による研修開催(You Tube 使用)

[専門研修への参加]

研修名	取得者数
エンドオブライフ・ケア援助者養成基礎講座	3名
認定エンドオブライフ・ケア援助士	1名
終活カウンセラー2級検定	3名

[出前講座実施状況] *別紙1参照

桐生・みどり地区においての「エンディングノート」に関する出前講座は、令和3(2021)年度桐生市及びみどり市が実施する出前講座にメニュー登録された。

令和3年度の出前講座実施状況は開催回数:4回、延べ参加者数は106名であった。

<2年目>

第二期(2年目・令和4年度)は、出前講座と人材育成を2本柱の重点事業として実施しました。出前講座については令和3年度に作成したモデルスライドを活用し、加えてエンディングノートを実際を書いてみるという「体験型プログラム」が人気となっており、約7割が体験型での依頼であった。

人材育成については、令和3年度に引き続き専門研修(エンドオブライフ・ケア援助者養成基礎講座、終活カウンセラー、もしバナマイスター等)への受講を積極的に行った。しかし、専門研修を受講した専門職も「講師」として活動するためにはハードルがあり、専門研修を受講された方向けの実践講座的な勉強会が必要な状況となっている。

令和3年度同様に、「もしバナゲームのワークショップ」を開催する予定あったが、講師派遣元が新型コロナウイルス感染症の拡大防止策として派遣を中止していたため実施には至らなかった。もしバナゲームが、専門職でない方にはテーマがちょっと重く感じる場所があるため、もう少しタイトな「人生これから100年ゲーム」を購入し今後の出前講座やワークショップに活用していく方針とした。

[ACPワーキンググループ(旧:出前講座等カリキュラム策定ワーキンググループ)]

回	年月日	内容
1	令和4年8月16日	令和4年度専門研修受講状況、今後の方向性 メーリングリストの作成について

※令和4年度の会議開催は1回であったが、メーリングリストを使用して、出前講座の開催周知・参加の募集、さらには事業に関する情報共有・情報交換を行った。

[エンディングノート普及啓発委員会]

回	年月日	内容
		桐生市及びみどり市では、新型コロナウイルス感染症の影響にて集合形式での活動が制限されていることもあり、令和4年度については普及啓発委員会の開催はしなかった。

[専門研修への参加]

研修名	取得者数
終活カウンセラー1 級検定	3 名
終活カウンセラー2 級検定	4 名
もしバナマイスタープログラム	1 名
エンドオブライフ・ケア援助者養成基礎講座	3 名

[出前講座実施状況] *別紙 1 参照

令和 4(2022)年度については令和 3(2021)年度に引き続き、「エンディングノート」に関する出前講座は桐生市及びみどり市が実施する出前講座にメニュー登録された。

令和 4 年度の出前講座実施状況は開催回数:31 回、延べ参加者数は 648 名であった。

【追加した方針】

ユニバーサルデザインを意識した普及・啓発活動

ぐんまパソコン倶楽部(視覚障害者)との交流を経て、視覚障害であっても「自分で」記入できる「桐生・みどり地区版エンディングノート Excel 版」を作成した。

<3 年目>

第三期(3 年目・令和 5 年度)は、3 か年の集大成として「エンディングノートサミット in きりゅう」の開催が重点事項となった。なお、エンディングノートサミットについては桐生市医師会を主催とし、県内 8 都市医師会・高崎健康福祉大学と共催、県内 23 市町村・群馬県等が後援と県内全域を巻き込んでの企画とした。

エンディングノートサミットでは、医師による ACP とエンディングノートの説明、納棺師とグリーフケアアドバイザーによるパネルディスカッション、県内 4 市町村行政からの実践報告を行い、多くの方にその大切さ(重要性)を伝えることができたと思う。

エンディングノートサミットの成功の反面、課題も多く残った。

令和 4 年度同様に、「もしバナゲームのワークショップ」を開催する予定あったが、講師派遣元が新型コロナウイルス感染症の拡大防止策として派遣を中止していたため実施には至らなかった。そのため、専門研修受講者にももしバナゲーム及び人生これから 100 年ゲームの体験会を実施し、ゲームの手順の確認とともにゲームで何をすることができるのか、何を伝えることができるのかについて確認を行った。また、講師養成のための研修(ACPマイスター研修(案))は開催することができず、講師養成の在り方についても課題が残った。

[専門研修への参加]

研修名	取得者数
もしバナマイスタープログラム	1 名

[もしバナゲーム体験会]

回	年月日	内容
1	令和5年4月18日	もしバナゲーム(ヨシダルール)、人生これから100年ゲームの体験会



[ACP ワーキンググループ(旧:出前講座等カリキュラム策定ワーキンググループ)]

回	年月日	内容
1	令和5年4月26日	令和5年度専門研修の方向性、エンディングノート出前講座への参画、令和5年度エンディングサミット(仮)、普及啓発の方法

[エンディングノートサミット in きりゅう]

回	年月日	会議名・内容
1	令和5年5月18日	第1回全体会議・第1回コア会議 目的、内容、タイムスケジュールについて
2	令和5年6月13日	第2回コア会議 エンディングノートに関するアンケート、開催日時、対象者、定員、プログラムについて
3	令和5年7月6日	Live 配信等打合せ
4	令和5年7月10日	第3回コア会議 開催日時、開催方法、配信業者、プログラム、タイムスケジュール、共催・後援、講師との事前打ち合わせ、シンポジストの選定について
5	令和5年9月14日	第2回全体会議 開催要項の確定、共催・後援団体、プログラムの詳細、タイムスケジュール・会場配置、役割分担、ポスター・フライヤーについて
6	令和5年12月4日	登壇者事前打ち合わせ
7	令和5年12月21日	第3回全体会議 会場配置図・舞台展開・全体図、当日の参加状況、役割分担について
8	令和6年1月13日	エンディングノートサミット当日 *別紙2参照

《エンディングノートサミット in きりゅうの概要》

日時:令和 6 年 1 月 13 日(土) 14:00~16:00

方法:会場+YouTube ライブ配信

会場:美喜仁桐生文化会館スカイホール

内容:第1部 説明「アドバンス・ケア・プランニングとエンディングノート」

第2部 パネルディスカッション「エンディングノートについて語る！」

第3部 シンポジウム「群馬県内の活動を知ろう！」

その他、県内各市町村等で発行しているエンディングノートの展示、4 種のエンディングノートの配布、納棺師のお仕事紹介、募金コーナーなどを会場ホワイエにて実施した。



参加者:会場 96 名・オンライン 100 アカウント

アンケート回収数:82 部(回収率 41.8%) *別紙 3 参照

[ピンバッジの作成]

現在も実施している桐生市及びみどり市の出前講座受講者、または専門研修をはじめとして人材育成の一環として実施予定の講師養成のための研修(ACP マイスター研修(案))の修了者に対して、受講または修了の証として配布するピンバッジの作成を行った。

このピンバッジについては、ただ単に「証」として配布するということが目的ではなく、受講者や関係者が身に着けることで、ACP やエンディングノートの普及啓発の一旦を担うことを期待するものである。



[出前講座実施状況] *別紙 1 参照

令和 5(2023)年度については令和 4 年(2022)度に引き続き、「エンディングノート」に関する出前講座は桐生市及びみどり市が実施する出前講座にメニュー登録された。

令和 5 年度の出前講座実施状況は開催回数:42 回、延べ参加者数は 809 名であった。

【総括】

3 年間の活動を通して企画名である「人生会議について学び、エンディングノートを通じて」の部分まではある程度達成できたと感じている。しかし、企画名後半の「自分の考えをまとめよう！」については達成できたとは言えないかもしれない。

出前講座等を通じて、ACP やエンディングノート、自分の考えをまとめておくこと、話し合っておくことの重要性について伝えることについてはエンディングノートの配布数(*別紙 4 参照)やエンディングノート出前講座アンケートの結果(*別紙 5 参照)から感じることはできる。しかしながらエンディングノートを「書く」、または家族等と「話し合う」という段階については、達成できている人が極わずかであると思われる(出前講座などで確認するなど、講師の所感である)。

前述したとおり、本事業は赤い羽根共同募金の事業としては終結をするが、本事業そのものについては終結するわけではなく今後も継続していくものである。課題は多々残ったものの、桐生市・みどり市・桐生市医師会が作成した「エンディングノート わたしのきぼう」を活用する形で、ACP やエンディングノートの普及啓発の場として、行政の出前講座にエンディングノートが登録され、市民・県民の皆さんに ACP やエンディングノートについて今後も継続して「お伝えする手段」の体制については確立できたといつてよい。

<ステークホルダー(関係者)の変化>

本事業におけるステークホルダーは大きくわけて 3 つのカテゴリに分類できる。

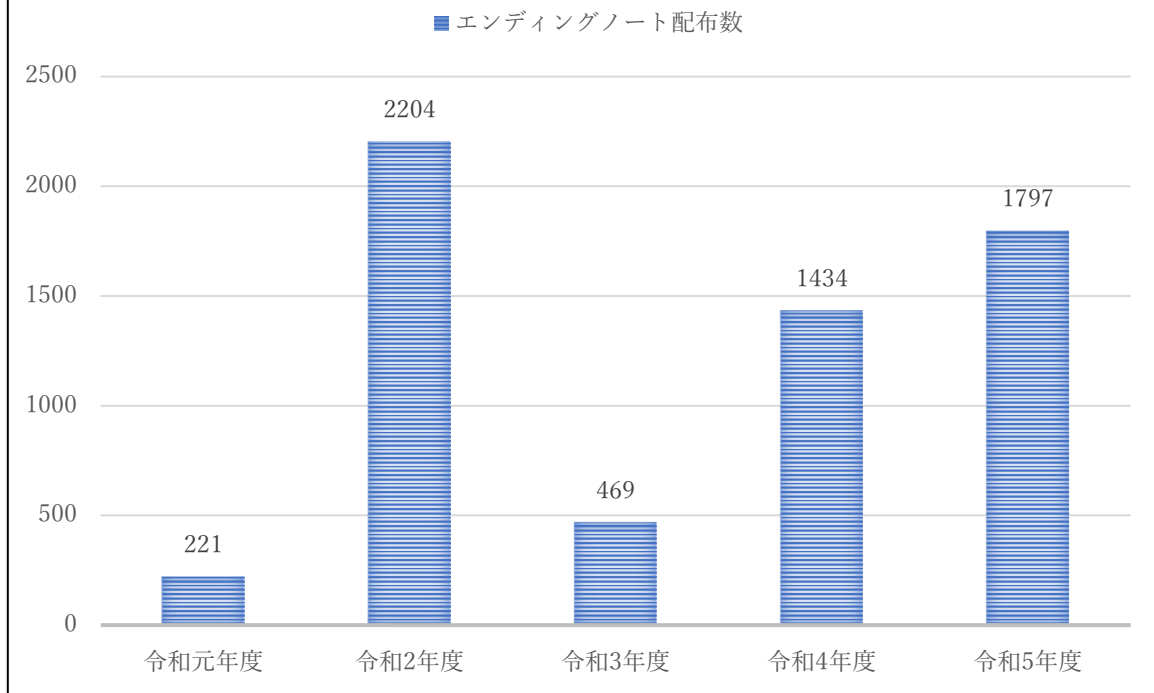
- (1)市民・県民
- (2)行政(市役所)
- (3)専門職(専門研修受講者等)

市民・県民(特に桐生市・みどり市)において、令和元年に作成されたエンディングノート「わたしのきぼう」の配布数の増減や出前講座の開催回数・延べ参加者数の増減を見ると、ACP やエンディングノートというものが、今までよりも距離が近くなったと言える。「書く」「伝える」ということまではできていないが、少なくとも今まで関心のなかった分野に「興味や関心を持ってもらう」という変化はあったのではなかろうか。

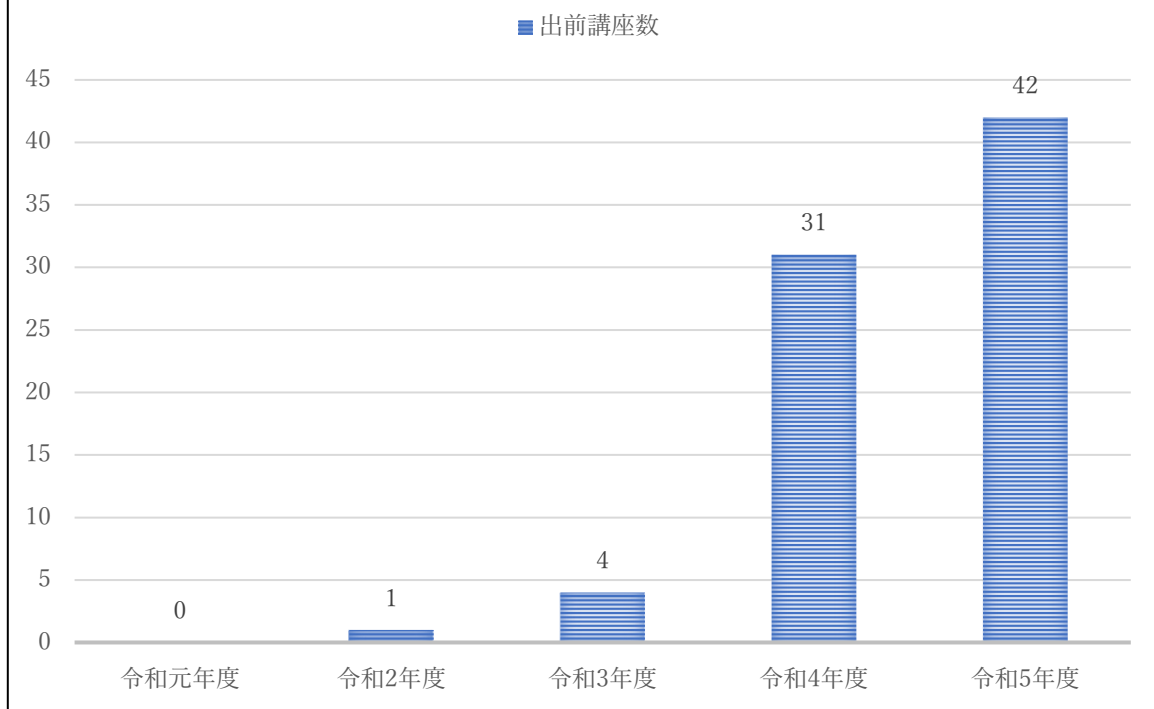
行政(桐生市・みどり市)については、人ではなく機関としての変化になるが、両市の出前講座に「エンディングノート」が正式登録されたことは大きな変化と言える。市民・県民から見た時に、一法人が行っている出前講座と行政が行っている出前講座ではその信頼性は大きく変わってくるだろう。

専門職では本事業に主に関わったのは「専門研修」の受講者である。専門研修受講者にヒアリング等は実施していないためエビデンスを示すことができないが、研修の受講及びワーキンググループへの参加を経て、ACP やエンディングノートといった分野が専門職としても身近になったのではないかと考えている。

エンディングノート配布数



出前講座数



<できなかったこと、今後の課題>

本事業においてできなかったことは大きく分けて 2 点である。

(1) 講師養成課程の確立

(2) ポスターやホームページ、SNS、マスメディアでの周知

講師養成(人材育成)については、本事業においても専門研修を受講者専門職にモデル的に出前講座で講師を経験していただき、その後は「講師養成研修」での講師役を担ってもらうという構想があったが、前提論として出前講座での講師を行うことに大きなハードルがあり、見学や補助・協力までは行えたがその先については達成することができなかった。今後については、人材育成の在り方そのものを再検討していく必要性を感じており、「講師」を育成するよりも、「伝達者」を増やしていくことのほうがよいのではないかと考えている。

また、周知・広報についても、ポスターやマスコミでの周知を視野に入れ、より多くの年代、より多くの分野、より多くの方に ACP の正しい理解やエンディングノートについて知ってもらいたいと考えていた。しかし、3 年間の本事業を実施する中で、ポスターやマスコミでの周知も大切なことであり、重要な方法であることは間違いないが、まずは運営の身近なところ(例えば高齢分野で働く専門職、医療機関で働く専門職)での周知が重要なのではないかと考えるようになった。

身近なところでの周知ができない運営に、さらに広い範囲での周知・広報ができるだろうか。運営の身近なところでの専門職への周知活動は、(1)の課題である伝達者を増やしていくことにもつながり、今後の実施していくべき課題点と捉えている。

エンディングノート出前講座集計表（令和3年度～令和5年度）

【別紙1】

No	開催日	時間	会場	方法	対象	参加人数	内容	備考
1	R3. 4. 3	15:30～16:30	桐生からくり人形芝館	集合	からくり人形保存会	8名	アドバンス・ケア・プランニングについて エンディングノート書き方講座	パネル使用
2	R3. 7. 21	10:10～11:20	桐生市保健福祉会館	集合	わたらせ虹の会	9名	エンディングノート「わたしのきぼう」	市販のエンディングノートを持参
3	R3. 10. 27	18:30～20:30	みどりまち文庫とZoomミーティング	ハイブリッド		14名	アドバンス・ケア・プランニングについて エンディングノート書き方講座	市民：7名 専門職：7名
4	R4. 3. 1	10:00～11:30	Zoomミーティング	オンライン	桐生大学看護学生	75名	エンディングノート「わたしのきぼう」	スライド使用
1	R4. 4. 5	10:30～10:45	笠懸7区公民館	集合	元気サロン参加者等	36名	アドバンス・ケア・プランニングについて エンディングノート説明	パネル使用
2	R4. 4. 7	10:00～10:30	笠懸3区公民館	集合	元気サロン参加者等	20名	アドバンス・ケア・プランニングについて エンディングノート説明	パネル使用
3	R4. 4. 8	10:00～10:30	笠懸1区公民館	集合	元気サロン参加者等	12名	アドバンス・ケア・プランニングについて エンディングノート説明	パネル使用
4	R4. 4. 12	10:00～10:30	笠懸5区公民館	集合	元気サロン参加者等	17名	アドバンス・ケア・プランニングについて エンディングノート説明	パネル使用
5	R4. 4. 13	10:00～10:30	笠懸4区公民館	集合	元気サロン参加者等	19名	アドバンス・ケア・プランニングについて エンディングノート説明	パネル使用
6	R4. 4. 22	10:00～10:30	笠懸2区公民館	集合	元気サロン参加者等	19名	アドバンス・ケア・プランニングについて エンディングノート説明	パネル使用
7	R4. 5. 10	10:00～10:30	笠懸6区公民館	集合	元気サロン参加者等	20名	アドバンス・ケア・プランニングについて エンディングノート説明	パネル使用
8	R4. 5. 23	10:30～12:00	水田塗装	集合	広沢1丁目市民	6名	アドバンス・ケア・プランニングについて エンディングノート書き方講座	スライド資料、パネル使用
9	R4. 5. 24	10:00～10:30	笠懸8区公民館	集合	元気サロン参加者等	12名	アドバンス・ケア・プランニングについて エンディングノート説明	パネル使用
10	R4. 5. 25	10:00～10:30	笠懸10区公民館	集合	元気サロン参加者等	17名	アドバンス・ケア・プランニングについて エンディングノート説明	パネル使用
11	R4. 5. 26	10:00～10:30	笠懸9区公民館	集合	元気サロン参加者等	24名	アドバンス・ケア・プランニングについて エンディングノート説明	パネル使用
12	R4. 6. 15	10:00～11:00	みどり市社会福祉協議会	集合	茶話会参加者等	13名	アドバンス・ケア・プランニングについて エンディングノート説明	パネル使用
13	R4. 7. 6	14:00～15:00	Zoomミーティング	オンライン	特別養護老人ホームサンライズ さかしの職員	12名	エンディングノート「わたしのきぼう」+看取りケア	スライド使用
14	R4. 7. 20	13:30～14:30	石関様工場跡	集合	第12区老人クラブ サンフレンズ	12名	アドバンス・ケア・プランニングについて エンディングノート書き方講座	パネル使用
15	R4. 7. 22	14:35～15:20	中央公民館	集合	高齢者大学	87名	アドバンス・ケア・プランニングについて エンディングノート書き方講座	スライド使用
16	R4. 7. 27	13:30～14:30	菱公民館	集合	菱女性学級	13名	アドバンス・ケア・プランニングについて エンディングノート書き方講座	パネル使用
17	R4. 9. 13	14:00～15:00	看護小規模多機能型居宅介護 ローズヴィレッジ	集合	看護小規模多機能型居宅介護 ローズヴィレッジ職員等	14名	アドバンス・ケア・プランニングについて エンディングノート書き方講座	スライド使用
18	R4. 9. 28	13:30～15:00	中央公民館	集合	桐生市地区公民館サークル連 絡協議会役員会	54名	アドバンス・ケア・プランニングについて エンディングノート書き方講座	スライド使用
19	R4. 10. 4	10:00～11:00	伊勢崎市障害者センター	集合	ぐまパソコン倶楽部	15名	アドバンス・ケア・プランニングについて エンディングノート書き方講座	エクセル版使用
20	R4. 10. 17	10:00～11:00	伊勢崎市障害者センター	集合	ぐまパソコン倶楽部	17名	アドバンス・ケア・プランニングについて エンディングノート書き方講座	エクセル版使用
21	R4. 10. 28	13:00～14:00	下山内科医院	集合	下山内科医院職員	6名	アドバンス・ケア・プランニングについて エンディングノート書き方講座	パネル使用
22	R4. 11. 9	13:45～15:15	高崎市高齢者あんしん センター希望館	オンライン	塚沢・浜尻社会連携会議参加者	72名	アドバンス・ケア・プランニングについて エンディングノート書き方講座	スライド使用
23	R4. 11. 21	13:30～14:30	境野公民館	集合	なかよしカフェ参加者	26名	アドバンス・ケア・プランニングについて エンディングノート書き方講座	パネル使用
24	R4. 11. 22	13:30～14:30	境野公民館	集合	なかよしカフェ参加者	13名	アドバンス・ケア・プランニングについて エンディングノート書き方講座	パネル使用
25	R4. 11. 30	9:00～10:00	町組集会所	集合	ふれあいいきいきサロン	17名	アドバンス・ケア・プランニングについて エンディングノート書き方講座	パネル使用
26	R4. 12. 16	10:00～11:30	黒保根保健センター	集合	くろほね交流会参加者	13名	アドバンス・ケア・プランニングについて エンディングノート書き方講座	スライド使用
27	R5. 2. 9	10:00～11:30	大間々9区公民館	集合	大間々9区女性部	13名	アドバンス・ケア・プランニングについて エンディングノート書き方講座	スライド使用
28	R5. 2. 14	10:00～10:30	みどり市いきいきセン ター	集合	介護予防教室参加者	11名	アドバンス・ケア・プランニングについて エンディングノート説明	パネル使用
29	R5. 2. 14	10:00～10:30	川内5-2町会ふれあいサ ロン	集合	サロン参加者	26名	アドバンス・ケア・プランニングについて エンディングノート説明	でかパネル使用
30	R5. 2. 16	13:30～14:30	貝沢町通町内会集会所	集合	いきいきサロン参加者	18名	アドバンス・ケア・プランニングについて エンディングノート書き方講座	スライド使用
31	R5. 2. 21	13:30～15:00	高崎市総合福祉セン ター	集合	シルバーアクトメンバー	7名	アドバンス・ケア・プランニングについて エンディングノート書き方講座	スライド使用
1	R5. 4. 10	14:00～16:00	ソリリッサ大根拠点	集合	ソリリッサメンバー	7名	アドバンス・ケア・プランニングについて もしバナゲーム、人生これから100年ゲーム	スライド使用・もしバナゲーム2セット、 人生これから100年ゲーム
2	R5. 4. 20	10:15～10:45	大間々町第6区公民館	集合	元気サロン参加者等	13名	アドバンス・ケア・プランニングについて エンディングノート説明	でかパネル使用
3	R5. 4. 25	10:15～10:45	大間々町小平公民館	集合	元気サロン参加者等	13名	アドバンス・ケア・プランニングについて エンディングノート説明	でかパネル使用
4	R5. 4. 25	14:00～15:30	四辻の齋嘉	集合	地域住民	11名	アドバンス・ケア・プランニングについて エンディングノート書き方講座	でかパネル使用
5	R5. 4. 26	10:15～10:45	大間々町第14区集会場	集合	元気サロン参加者等	11名	アドバンス・ケア・プランニングについて エンディングノート説明	でかパネル使用
6	R5. 5. 11	10:15～10:45	大間々町第1区公民館	集合	元気サロン参加者等	15名	アドバンス・ケア・プランニングについて エンディングノート説明	でかパネル使用
7	R5. 5. 19	10:15～10:45	大間々町第12区公民館	集合	元気サロン参加者等	21名	アドバンス・ケア・プランニングについて エンディングノート説明	でかパネル使用
8	R5. 6. 2	10:15～10:45	大間々町福岡中央公民 館	集合	元気サロン参加者等	7名	アドバンス・ケア・プランニングについて エンディングノート説明	でかパネル使用
9	R5. 6. 22	13:30～15:30	菱公民館	集合	菱高齢者学級	17名	アドバンス・ケア・プランニングについて エンディングノート説明	スライド使用
10	R5. 6. 23	10:15～10:45	多世代交流館	集合	元気サロン参加者等	19名	アドバンス・ケア・プランニングについて エンディングノート説明	でかパネル使用
11	R5. 7. 14	13:30～15:30	桐生市中央公民館 市 民ホール	集合	高齢者大学	131名	アドバンス・ケア・プランニングについて エンディングノート書き方講座	スライド使用
12	R5. 7. 19	10:00～11:00	総合福祉センター	集合	要約筆記会	10名	アドバンス・ケア・プランニングについて エンディングノート書き方講座	スライド使用
13	R5. 7. 19	14:30～15:00	グンエイホールPAL	集合	みどり市民生委員・児童委員 協議会	102名	アドバンス・ケア・プランニングについて エンディングノート説明	スライド使用
14	R5. 7. 20	10:15～10:45	大間々町神梅公民館	集合	元気サロン参加者等	11名	アドバンス・ケア・プランニングについて エンディングノート説明	でかパネル使用
15	R5. 7. 25	13:30～15:00	アルファプラザ	集合	フレンドミツバ	19名	アドバンス・ケア・プランニングについて エンディングノート書き方講座	スライド使用
16	R5. 7. 27	13:30～15:00	川内公民館	集合	川内高齢者学級	42名	アドバンス・ケア・プランニングについて エンディングノート書き方講座	スライド使用
17	R5. 8. 8	10:15～10:45	いきいきセンター	集合	元気サロン参加者等	17名	アドバンス・ケア・プランニングについて エンディングノート説明	でかパネル使用
18	R5. 8. 10	10:15～10:45	大間々町第11区公民館	集合	元気サロン参加者等	12名	アドバンス・ケア・プランニングについて エンディングノート説明	でかパネル使用
19	R5. 9. 7	13:30～15:00	北公民館	集合	北高齢者学級	17名	アドバンス・ケア・プランニングについて エンディングノート説明	スライド使用
20	R5. 9. 12	10:15～12:00	東公民館	集合	高齢者学級「寿大学」	16名	アドバンス・ケア・プランニングについて エンディングノート書き方講座	スライド使用

エンディングノート出前講座集計表（令和3年度～令和5年度）

No	開催日	時間	会場	方法	対象	参加人数	内容	備考
21	R5. 9. 20	13:30～15:00	昭和公民館	集合	昭和ときめき学級（女性学級）	27名	アドバンス・ケア・プランニングについてエンディングノート書き方講座	スライド使用
22	R5. 9. 27	13:30～15:00	昭和公民館	集合	昭和燦々塾（高齢者学級）	10名	アドバンス・ケア・プランニングについてエンディングノート書き方講座	スライド使用
23	R5. 10. 19	13:30～15:30	桜木西公民館	集合	18区高齢者学級【まなびや】	32名	アドバンス・ケア・プランニングについてエンディングノート書き方講座	スライド使用
24	R5. 11. 1	13:30～14:30	天沼会館	集合	サロン天沼	18名	アドバンス・ケア・プランニングについてエンディングノート項目説明	スライド使用
25	R5. 11. 2	19:00～19:30	多世代交流館	集合	大間々16区福祉部会	17名	アドバンス・ケア・プランニングについてエンディングノート説明	スライド使用
26	R5. 11. 20	13:30～15:30	境野公民館	集合	なかよしカフェ参加者	27名	アドバンス・ケア・プランニングについてエンディングノート書き方講座	スライド使用
27	R5. 11. 27	11:00～11:40	高齢者生活福祉センターまごころ	集合	一人暮らし高齢者交流事業	47名	アドバンス・ケア・プランニングについてエンディングノート説明	スライド使用
28	R5. 12. 6	13:30～14:00	沢入地区共同交流生活ハウスいきがい	集合	遊びりサロン参加者等	7名	アドバンス・ケア・プランニングについてエンディングノート説明	スライド使用
29	R5. 12. 7	13:30～14:00	花輪一区集会所	集合	遊びりサロン参加者等	13名	アドバンス・ケア・プランニングについてエンディングノート説明	スライド使用
30	R5. 12. 8	13:30～14:00	花輪三区集会所	集合	遊びりサロン参加者等	8名	アドバンス・ケア・プランニングについてエンディングノート説明	スライド使用
31	R5. 12. 11	13:30～14:00	草木地区住民センター	集合	遊びりサロン参加者等	9名	アドバンス・ケア・プランニングについてエンディングノート説明	スライド使用
32	R5. 12. 14	13:30～14:00	小夜戸集会所	集合	遊びりサロン参加者等	3名	アドバンス・ケア・プランニングについてエンディングノート説明	スライド使用
33	R5. 12. 22	10:00～11:30	黒保根保健センター	集合	くろほね交流会参加者	6名	アドバンス・ケア・プランニングについてエンディングノート書き方講座	スライド使用
34	R6. 1. 15	13:30～14:00	小中集会所	集合	遊びりサロン参加者等	3名	アドバンス・ケア・プランニングについてエンディングノート説明	スライド使用
35	R6. 1. 17	13:30～14:00	花輪二区集会所	集合	遊びりサロン参加者等	4名	アドバンス・ケア・プランニングについてエンディングノート説明	スライド使用
36	R6. 1. 18	13:30～14:00	座間集会所	集合	遊びりサロン参加者等	3名	アドバンス・ケア・プランニングについてエンディングノート説明	スライド使用
37	R6. 1. 23	13:30～14:00	荻綿生活改善センター	集合	遊びりサロン参加者等	8名	アドバンス・ケア・プランニングについてエンディングノート説明	スライド使用
38	R6. 1. 25	13:30～14:00	神戸生活改善センター	集合	遊びりサロン参加者等	5名	アドバンス・ケア・プランニングについてエンディングノート説明	スライド使用
39	R6. 2. 16	10:30～11:30	宿廻集会所	集合	いきいきサロン参加者	7名	アドバンス・ケア・プランニングについてエンディングノート説明	スライド使用
40	R6. 2. 17	10:00～11:00	多機能型事業所うたたね。	集合	おりひめサロン参加者	9名	アドバンス・ケア・プランニングについてエンディングノート説明	スライド使用
41	R6. 3. 12	10:00～11:45	大間々13区集会所	集合	13区あいあい会	39名	アドバンス・ケア・プランニングについてエンディングノート書き方講座	スライド使用
42	R6. 3. 22	10:00～11:00	黒保根支所第2会議室	集合	水沼サロン	3名	アドバンス・ケア・プランニングについてエンディングノート説明	スライド使用

1563名

エンディングノートサミット in きりゅう



開催日時：令和6年1月13日（土）14:00～16:30

開催方法：会場+YouTubeライブ配信

定員：会場：240名 ライブ配信：定員なし

会場：美喜仁桐生文化会館スカイホール
（群馬県桐生市織姫町2-5）

申込方法：裏面をご覧ください

申込締切：令和6年1月9日（火）



エンディングノートサミット特設ページ

<https://renkei-kiryu.org/endingnotesummit/> サミット特設ページ

YouTubeライブ配信は「[特設ページ](#)」からご視聴いただけます。

今、伝えておきたい…。

第1部 説明

「アドバンス・ケア・プランニング
と
エンディングノート」

桐生市医師会 副会長 高橋 厚 氏



第2部 パネルディスカッション

「エンディングノートについて語る！」

グリーンケア・ネットワークぐんま「ここのほ」

グリーンケア・アドバイザー

柏瀬 真美 氏 / 丹羽 美礼 氏

あまねや 代表・納棺師 丸山 裕生 氏

納棺師歴20年の丸山先生
群馬県 初来県！



第3部 シンポジウム

「群馬県内の活動を知ろう！」

前橋市長寿包括ケア課	白根 萌 氏
神流町保健福祉課	新井千津子 氏
片品村保健福祉課	大竹 和美 氏
桐生市健康長寿課	石塚 幸子 氏



【お問い合わせ】

一般社団法人桐生市医師会
在宅医療介護連携センターきりゅう

TEL:0277-32-5222

E-Mail:info@renkei-kiryu.org

（担当）小川

【共催】(予定)

桐生市医師会、沼田利根医師会、館林市邑楽郡医師会、藤岡多野医師会、富岡市甘楽郡医師会、太田市医師会、安中市医師会、前橋市医師会、高崎市医師会、群馬郡医師会、高崎健康福祉大学

【後援】(予定)

桐生市、みどり市、沼田市、片品村、川場村、みなかみ町、昭和村、館林市、板倉町、明和町、千代田町、大泉町、邑楽町、藤岡市、富岡市、甘楽町、下仁田町、南牧村、安中市、上野村、神流町、前橋市、高崎市、群馬県、群馬テレビ、上毛新聞社、株式会社 エフエム群馬、桐生タイムス社、FM桐生、群馬県共同募金会



赤い羽根共同募金の助成を受けて活動しています

エンディングノートサミット参加申込み

【申込方法】

○会場参加の方

この用紙を使用してファックス

または下記URL・QRコードから参加申込フォームにてお申し込みください

参加申込フォーム：<https://forms.gle/mvKt1DErr8n916sx8>



○YouTubeライブ配信の方

You Tubeライブ配信ご希望の方は**申込不要**です

【参加申込書】 *事務局からのご連絡は原則「メール」にて行います。メールアドレスのご記載をお願い致します。

(フリガナ) 氏名	電話番号	メールアドレス*	所在地 ※市町村名をご記入ください
【備考】			

ご記入いただきました個人情報は、当イベントの運営のみに使用させていただきます。

【お申込みに関する問い合わせ先】

在宅医療介護連携センターきりゅう

TEL : 0277-32-5222 / E-Mail : info@renkei-kiryu.org

ENDING NOTE SUMMIT in Kiryu

エンディングノートサミット in きりゅう

アンケート集計結果



	参加者数 ※オンラインはアカウント数	アンケート回収数	アンケート回収率
会場	96名	67	69.8%
オンライン	100アカウント	15	15.0%
合計	196	82	41.8%

※集計結果は「ご記入いただいた内容をそのまま」掲載しています。

1.第1部 説明「アドバンス・ケア・プランニングとエンディングノート」についてのご意見・ご感想をご記入ください。

- サイズも説明にあったように取り扱いやすい。見開いた中身がとても優しいイメージとなっている(カラー・文字・挿し絵)
- このお話しは何度かお聴きました。あらためて、話しあっておくことの大切さを感じました
- シンプルでわかりやすかったです。エンディングノート作成に当たり様々な葛藤があったと思いますが、今回はそのこともお聞かせいただければありがたいです。
- とにかく”ACP を広める”ことばかり携わる事業の中でも言われますが ACP のデメリットのお話をいただき、ちょっと救われた思いです。すべての人に適応できるものではない。今の80代後半90代(特に田舎)には受け入れがたいものなんだろうと思う毎日です。
- もしもの時のことを考える機会になった
- 再確認ができたので、初めて高齢者になる身希望がでてくる思いで聞けました。
- とても参考になりました。説明している所、ページ数が書いてあるとよいと思いました
- わかりやすい説明でよかった。ACP の大切なことはプロセス、理解できた。
- とても勉強になりました。
- よかったです。
- 家族で話合って決める事が大切である事を感じた。簡単に記入できるチェック式のもの。誰でも記入できるもの。見やすい物。
- やはり書きとめたほうがよいと思いました。
- アドバンス・ケア・プランニングという医療の側面がとても強く、なかなか一般の方々に周知することが難しいと感じています。最期の医療を決めておくことではなくて、どのように生きていきたいのか？人生のしまい方を考える、今生きていることのプロセスということエンディングノートをツールとして用いる、そのきっかけになると感じました。
- 医療側の視点での ACP・エンディングノートについてわかりやすく説明頂けました
- エンディングノートについて学びました。大変わかりやすかった。
- 「ACP の影」注意点として、とても参考になりました。
- 非常にわかり易い内容でした。
- 分かりやすく解説されて良かった
- 家族と話し合うと思い中々話にのって来てくれません。今日もおさそいしましたが、お前が聞いてこいと話し…
- 家族など自分のまわりの人と自分が亡くなった時の事を話し合うきっかけになると感じました。「プロセスが大切」というお話に納得しました。
- 他町等の取組みを聞いて大変参考になりました
- とてもわかりやすかったです。
- エンディングノートはまわりの人々と話し合うきっかけとして有益と感じた。自分の意思を明らかにしておくことは、自分の人生をまっとうするために大切だと思う
- エンディングノートを書いておくことが重要だと思っていたので、改めて家族と話し合う大切さを意識

することができた。

- ACP 初めて耳にしました。自分が考えていることは、言語化しないと家族他者には伝わらないものだと思います。(分かってもらえているような気がしていました)エンディングノートを頂き、家族で話あってみようと思いました。
- アドバンス・ケア・プランニングということがよくわかった。
- 医師会の先生からの説明があった事で、説得力があって良かったと思います。桐生の診療所、病院でポスターをよく見かける事が増えると、意識のうすい人の後押しとなると思うので、ポスター掲示をお願いすると良いと思います。
- ACP について日頃からもっと周囲の人たちと語り合いたいと思いました。
- 非常に分かりやすかった。自分は特養のケアマネをしておりまして今後のケアに活かしていきたいです。
- エンディングノートの大切さを痛感しました。
- 高橋先生の説明が分かりやすかったです。医療用語の意味するところが一般の方が思っているのとは違うというのは現場の現実であるある
- 今後、エンディングノート作成について検討したいと思う。(75 才男)
- まだ先のことだと思っていましたが、家族と”もしも”の時のことを話し合っておくことは必要だと思いました。難しく考えず、話し合ってみたいと思います。
- ACP の事は知っていた。しかし DNAR に関してもう少し学びたいと思う。リビングウィルについても知る必要があると思う。
- 話し合ったという「プロセス」が大切と学びました。元気なうちに家族と話し合いができるようにしたいです。
- ACP について基本から勉強することができよかった。高橋先生の講演すばらしかったです。
- とてもわかり易かったです。ACP が良く理解できました。
- とりかかりやすいノート、ボリューム少なめ、ハードルひくめ、わかりやすい、書きやすいが周知広がりやすいと思う。各々詳しく記入したければ足せばよいので
- 「わたしのきぼう」について改めて理解することができました。高橋先生、非常にわかりやすい説明ありがとうございました。
- ACP は患者だけでなく、その家族の満足感向上につながることを知った。しかし、事前指示を取ることが目的となってしまうたり、代理決定者や病院内、地域などで情報の共有がされていないというデメリットも存在することを知ることができた。エンディングノートの項目やサイズなど工夫、改良がされていることを知り、手にとってみたいと考えた。
- エンディングについて話し合っておくことの大切さを感じた
- 医療機関で略語が用いられると一般の人には何をリビングウィルで話されても理解出来ないことも多々あります
- 初めての言葉でした(アドバンスケアプランニング)(エンディングノート)
- ACP への理解
- 改めて ACP を考え学ぶ機会となりました。ACP をきくたび、学ぶたび、話し合うこと、確認し合うことの大切さを感じます。
- 当事者やご家族の意思決定はとても重要だと思っています。1 人でエンディングノートを書くのは難し

い。でも家族でどんな時にしたらいいのだろうか？と思い、止まってしまう家族も多くいると思います。でもまだまだ知っている人は1部の専門職にとどまっている様に思います。

- 本人と家族全員で話し合うタイミングが難しいと感じました
- アドバンス・ケア・プランニングについて詳しく知ることができました。
- 完結でわかりやすい説明で勉強になりました
- 医師会、ありがとうございました。
- わかりやすい説明で理解できました
- 優しい言葉で話していただいたので理解し易かった。スライドが見やすかった。
- エンディングノート作成までの取りくみが良くわかりました。
- ACP の言葉を知る事ができました。
- 突然の病気で自分で伝えられない場合を考える良い機会となりました。望む治療の仕方を記す事は大切な内容を考えさせられました。
- 医療用語が分からないのでエンディングノートの記入が滞ってしまう。この機会に教えて欲しかった。
- 聞き慣れない、知らなかった言葉でしたが勉強になりました。世の中、知っているのと知らないのではとてつもなく大きな違いが生じてしまう事が数多くあります。今回知る事が出来たことに感謝すると共に早めに楽しく話せるうちに両親だけでなく自分の事も始めていきたいと感じました。
- エンディングノートを事前に作成しておく必要はあると思う。そのため何をしておいたらよいか参考となった。
- ACP の概念が良くわかりました。
- 以前から興味があったエンディングノート、なかなかこのような機会が無かったので参加して良かったです。家族のいない独り身の為考えさせられる事多々あります。その様な独居の人の為のセミナー等もあれば良いと思います。
- 生き方、死に方に対する価値観を共有し、揺れることを許せる専門職でありたいです。
- 分かりやすかったです。
- 所属施設でも啓発行っています。参考になりました。
- 医師からの説明で必要性に説得力があったように思います。
- 話し合うことの大切さがわかりました。
- ノートがあれば、進めやすいと思います。
- 端的でわかりやすかった。
- ACP と DNAR との違いがよく理解できました。話し合うプロセスが大切であることも理解できました。
- とてもわかりやすく、今後の参考にさせていただきます
- 分かりやすくて良かった。
- 利用者様の意思に添えるよう話合える関係性を築いていきたいと思いました。
- 定型型の ACP、エンディングノートについての必要性は十分理解できました。但し相手のある話であり、誰が、何の目的で、いつ行うのが適切か、個人的に逡巡しています。
- 高橋先生お疲れ様でした。
- サミットの始まりとして、とてもよい、わかりやすい講話でした。
- 初めて聞く言葉が多く大変勉強になりました。私の妻のエンディングノート作成の参考にします。

2.第2部 パネルディスカッション「納棺師とグリーフケア・アドバイザーに聞く～エンディングノートの大切さ～」についてのご意見・ご感想をご記入ください。

- 悲しみは 0 にはならない。その気持ちに寄り添っていくにも希望を残して逝く、という希望を知っておくだけでも残された方達の気持ちはすくわれるのだな、と思った。
- 納棺師の方やグリーフケアについて貴重なお話を聴くことができました
- [グリーフケア]事例をきくことで、エンディングノートや ACP の必要性を強く感じることができました。周知の方法の参考にしたいと思います。[納棺師]「亡くなっても、かなえられることがある」ことが心に残りました。家族のサポートとして活用していきたいと思います。
- 自分が住んでいる市(他市です！)でも、こういうネットワークがほしいなと思いました。常に自分の住んでいるところの先に行く群馬県がうらやましく思いました。納棺師さんのキャラクター…気になります！もっと話を聞きたいなど。
- 自分の死んだあとの状況が目にかんて考えさせられた
- 納棺師に仕事が具体的にわかって良かった。
- 納棺師さんの話、非常に良かったです。
- ふだん聞けない現場の話が聞いて良かったです。
- 実践されているので本当によくわかり考え方の参考になりました。
- なかなか納棺師さんのお話を聞く事はできません。今回大変参考になりました。
- 深い内容でした
- 活動内容の確認ができた。家族と話しておく事が重要と感じた。意思確認の必要性があると感じた。
- 大切な人を亡くしましたが納棺師からの声かけが今でも頭に残っています。貴重なお話しありがとうございました。今後とも各地域でお話しをきかせて下さい。
- 最後の時をお話のようにしてあげたいと思いました。
- 予期悲嘆のお話:グリーフケアは亡くなる前から始まっていること、とても良いお話しでした。納棺師の方のお話:大切な人が亡くなっても、まだしてあげることがあるという希望、望みを叶えてあげられたと思うことが心の救いになるという視点、とても良いお話しでした。悲しみに集中できるためのお仕事だということも知りました。
- グリーフを少しでもやわらげるためにノートが役立つのだと理解できました。納棺の現場でエンディングノートがあることによるメリットが伝わりました。
- 人の死にまつわる事をテーマに話すことがなかなかないので貴重な話が聞いて大変参考になりました。
- ことのは様 リーフレットが 2 種類あり、ケアが必要な方への向きあいかたが分かり、勉強になりました。あまねや様 お名前の由来、とても良いと感じました。スライドのイラストも素敵でした。「耳がなくて悲しみに集中できない」なるほどと感心しました。
- とても勉強になりました。
- 好感が持てる説明であり、また心にしみる内容であった。
- 分かりやすくとても良かった
- グリーフケア、納棺は残っている人にとって前に進むためにも大切思いました。残った人の為にもエンディングノートに記録することは大切と思いました

- 残された(残していく)家族のためという視点がなかったので事例もふくめてお話を聞いてよかったです。
- 納棺師様のお話が聞いて、良かった。「類推」ができる話しは勉強になりました。ありがとうございました。
- 納棺師の方の話は大変興味深かった。
- 残される側の心の整理のためにもノート意志共有は重要と感じた。亡くなった後にもまだできることがある、という希望という点に感銘を受けた。残された者のための「場」の大切さを感じたが、受けとめる側の大変さも感じた。
- エンディングノートに記入することで、残された家族の自責感が減らすことができるのだと感じられた。
- 悲しいエピソードは人に言うてはいけない(はばかるべき)というような暗黙の常識があるように思いました。グリーフは亡くなる少し前から始まっているとは思いませんでした。家族の死は必ずこの先やってくるのだとしたら(自分が長く生きる前提)死についてもっと気軽に話せる世の中にしたいと思いました。
- それぞれの活動内容がわかって参考になった。
- 使ってみての感想を話せる人から直接聞く機会があれば参加したいです。流産、死産経験者などのグリーフにも「ことのは」さんが関わる事もあると思いますが、小さいお子さんのいるご家庭やお子さんを亡くされた人との関わりもあると思います。
- ”グリーフケア”という概念がもっと普及すると良いと思いました。
- なかなか聞く機会のないお話ばかりでとても良かった。
- 納棺師の実際がわかった。グリーフケア、納得がいく旅立ちができるよう支援したい
- 祖母が亡くなった時に遺影に祖母が使ってほしい写真があると言っていたのに結局見つからず。気に入ってた着物の写真を加工して使った。葬儀が終わったあとに見つけて悲しかった。正面向いてる写真がなくてデイサービスで撮った写真を使うのもよくある話終活大切
- 死んでからの最後にできる会話なんだと思う
- 誰にも平等に”死”は訪れるはずですが、自分のこととして向き合うことはなかったです。自分の望む送り方や家族側の受け入れ方など、準備していきたいと思えます。納棺師やグリーフケアというあまりなじみのなかった活動をされている方のお話を聞くことができよかったですと思えます。
- グリーフケアについて学びたいと思う
- グリーフケアも納棺も誰もが経験することです。そこに対して「きぼう」が叶うことはすばらしいことだと思えました。
- 納棺師さんのお話は初めて聞く内容だったのでとても興味ぶかかった。グリーフケアもこの様な活動をしている人々がいた事を知らなかった。必要な活動だと思います。応援しています。
- 特に丸山師の話が興味深かったです。もっと聞きたかったです。看護師も少し似たことをする場合もある為質問したいことがたくさんありました。
- 納棺師さんのお仕事との向き合いの想いすてきでした。
- 実際に現場で活動されている方の話は響きます。3 回くらい涙腺が緩みました。自分の日頃の仕事は「生」のための(生きている方のための)仕事なので、今回講演された「死」に向きあう仕事をされている方の視点などは、自分には無い、もしくは欠けていると改めて気づきました。今後仕事に取りくむ上で、

反省点が気づけたので有意義な時間でした。

- エンディングノートに自分のしてほしいことや、伝えたいことを記入しておくことで残された人々が判断に困ることが少なくなったり、自責感を減らすことができ、前に進みやすくなると考えた。また家族との定期的な話し合いをすることで今の自分の意思や家族全員の意向を確認しておくことが大切であると考えた。
- 納棺師さんの「悲しみに集中できるように」という言葉に悲しい時は悲しむこと、そしてお別れできればそれで良いかと思う
- 後悔はずっと消えません
- よかった。感動した。
- R1年に成る1月父の死で納棺師さんの仕事、見させて頂き今よみがえりました。
- ACPとは本人のためだけでなく、残されたFaの気持ちの整理にも必要なことを亡くなったあとケアする方々の話しをきき、痛感しました。
- グリーフケアアドバイザーはこれから特に必要な仕事だと考えています。ACPが出来ていたらグリーフも少しはやわらぐのではないかと思う部分も感じているのでグリーフケアについてもっと広めて欲しいと思います。
- 実際に活動している方の話はなかなか聞けないので良かったです
- グリーフケアのことを初めて知りました。納棺師の方の実体験の離しは興味深く聞かせていただきました。
- とても難しい判断・自分でももちろん判断出来ない・家族の意思確認の大切さ(共有)・納棺師、知らなかったです
- 老人の事と考えず、若い人も生に向き合う大切な時間でした。
- 具体例のお話もあり、とても良く理解ができました。納棺師からの視点は、普段の生活の中では知ることができない部分なのでお話を聞いて良かったです。
- 具体的な事例をあげていただき理解し易かった。納棺師のお仕事の説明を聞いて良い経験ができた。
- 丸山さんのお話がとても良かったです。残された家族が、何かかなえられることで…のお話が印象に残りました。
- 納棺師の仕事、気くばり、心配りを知る事ができ良かったです。
- 悲しみは100%やってくる、このことに真正面から向う心構えを考えさせられました。
- エンディングノートの必要性については関係ない意見、説明が多い
- ことのはさんは今年で5年目とのことでこの様な活動がスタートしていた事を今日初めて知りました。今後も情報収集しながら関心を持ち続けていきたいと思っています。あまねやの丸山さんは仕事に向き合う信念がすばらしいと感動しました。納棺師及び丸山さんに注目していきたいです。話を聞くことができ本当に良かったです。
- 昨年一人暮らしの親族がなくなったが何も情報、希望がわからなかったのが心残り。エンディングノートの必要性を強く感じる。
- 納棺師さんのお話もっと聞きたかったです。とても感動しました。
- 納棺師の方に直にお話がきけてとても良い経験になりました。この様なきかいはめったにないので、またいろいろなお話しがきけたら良いと思います。

- 生まれて初めて納棺師の方のお話を伺いました。温かくて美しいお仕事ですね。応援しています。
- なかなか実際の話聞く機会がない方たちだったのでとても興味深かったです。特に納棺師の仕事の意味奥深さ、大変勉強になりました。
- 貴重なお話を聴くことができ良かったです。
- 実際に死に近い方々からの、家族へ希望を伝える手段としてのエンディングノートの活用のすすめは、心に響くものがありました。
- 本人、家族にとって、心の救いとなるものと認識し、仕事でも普及できるよう検討したいと思います。
- 葬儀の時のことまでノートに書けると、家族も進めやすいと思います。
- 普段聞くことができない話でありよかったです。
- なんとも言葉にならないです。何となく悲しむことを避ける習慣があるかと思います。悲しみに集中することが大切であることを学びました。
- 事例を交えたお話で、より身近に感じられました
- それぞれの方の活動が分かりました。参考になりました。ありがとうございました。
- 悲しむ時にしっかり悲しむことは大事なことだと思いました。深い悲しみが癒えるにか個人差もありますが、思いが表現できる機会を持つことは、残された人が故人と過ごした時間を良い思い出にするために必要な時間だと思いました。
- 残された家族が、納得して愛する方の死を受け入れられるようになっていくためにも、ご本人の意向を確認しておくことが大切なんだな、と感じました。
- グリーフ：悲嘆との用語について知ったことは有意義でありました。納棺師の方の現場のお話は、死に行く方と残される者の橋渡しとして在るべき仕事と認識されました。
- 納棺師のお話はとても興味がある内容でした。納棺師について映画でしか知りませんでした。改めてお別れの儀式の大切さを知ることができました。桐生市でのグリーフケア・アドバイザーの取り組みについては聞いたことがありましたが、群馬県で取り組みが広がっていることは知りませんでした。柏瀬さん、丹羽さん地域の方のためにも引き続き頑張ってください。
- 逝去後の向き合い方に、大変役立つこととなりそうです。ありがとうございました。
- 現場でご活躍されている方々のお話は大変勉強になりました。お仕事ぶり感心しました。

3.第3部 シンポジウム「群馬県内4市町村のエンディングノートへの取り組み」についてのご意見・ご感想をお聞かせください。

- ◆ みどり市でケアマネとして働いておりますが、まだまだエンディングノートの活用率は低いと思います。周知率も低いと思いますので、今回発表のあったチラシなどの広報誌や出前講座などをみどり市でも取り入れてもらえたらと思いました
- ◆ 県内各地からお集まり、ぐたい的な話を聴くことができました
- ◆ 市町村によって作成までのご苦労、作成後の取り組みの方向性、とても参考になりました。
- ◆ 前橋の人生ノートは大いに参考になった。奥多野地域、山の厳しい自然環境と超高齢化、過疎化、ACPの必要性を強く感じた。あすはわが身かと。ファイル形式、追加しやすい工夫はとても良いと思う。利根沼田も環境厳しい中、よく工夫してると感じた。桐生市エンディングノートのサイズ、A5サイズは渡しやすいかべにはりやすいかと。
- ◆ 地域により違いますね。理解出来ました。出前する事、良い事です。
- ◆ 県内でも地域により大きな差があることを知った。地域の方の生の意見が聞けて実感がわいた。桐生市のとり組み◎
- ◆ 各市でがんばられていることが分かりました。
- ◆ 資料作成ご苦労様です。エンディングノートが今後さらに普及されることを願います。
- ◆ 自分の住む町村以外のものを知る事ができ良かったです。
- ◆ 各市町村として地理的な違いや人口等で色々と取組みが違う。エンディングノートも各々違うため、地域性があり活用できれば良い。
- ◆ 参考になりました。
- ◆ 自分の最後の時、やはりあとの人にのこしてあげたい。
- ◆ 群馬県内のエンディングノートへの取り組みは、それぞれの地域性があり、大変勉強になりました。独居の方が増えてきている中、法的な力はないですが、本人の意向を確認していくことは本人にとってのみならず、周囲の人にとっても、とても大切なツールになることを改めて知ることができました。周知の工夫も参考になりました。
- ◆ 各現場での課題やテーマがわかりました
- ◆ 地域で独自に様々なことを考えて作られたことがわかりました。
- ◆ 県内4市町村の生活環境(医療・介護含む)の違い、格差におどろきました
- ◆ 県内のノートを知ることが出来て、学びになりました。
- ◆ 各地域の取り組みがきけて大変勉強になった。
- ◆ 自分のきぼうを書くとしても大切とは思いますが中々…今日明日と思いつつ、毎日が終わってしまう。
- ◆ 地域の状況に応じた取組についてのお話、勉強になりました
- ◆ 地域特性によってアプローチの仕方が異なるが、想いは共通していると思いました。
- ◆ 人口の少ない所では直に取組んでいる様子。寧ろ人口の多い地域でも参考になるものと思われそうです。
- ◆ 自己評価が低すぎるあとの10点(桐生)は気持ち良かった。
- ◆ 自治体が取組む意味は大きいと思う。医療・介護以外の分野も必要性が高いことは多いと思う。作り手側からの視点のみならず利用者側の視点も必要とも思う。

- ◆ 県内でも地域差があり、エンディングノートのあり方、書き方が違うものになるのだと感じた。
- ◆ ノートの必要性が良く分かりました。地域の特徴によって打ち出し方が違い工夫されていて勉強になりました。自分に出来る事を考えエンディングノートの普及に貢献したいと思います！
- ◆ 人口規模の違いでのエンディングノートの取り組みは勉強になった。
- ◆ ハードルは高いですが働きざかりの若い世代の人、中・高生の人も自分の意識が話し合える場面を作るきっかけにノートを使ってもらえるよう、教育委員会にも協力してもらいたいと思いました。
- ◆ 中山間部における介ゴ・医療の困難さを知ることができました。
- ◆ 地域の実情に即した取り組み、住民への周知、専門職との協調(市町村内、他の市町村との連携、作成の経緯、活用に向けての取り組み etc)についてとても興味深くお話を伺いました。
- ◆ 各地区の取組、参考になりました
- ◆ 出前講座を開催することが普及になっているのかちょっと疑問。行政がどんどん前に出ないと特に身内には勧めにくいと思う。みんな基本的には考えたくないこと内容だから。神流町の新井さん、現状をハッキリ現実的に見ている
- ◆ 各地域で熱意を持って取り組んでいることがわかりました。
- ◆ 各地域たくさんの方の思いがエンディングノートにつまっていると感じました。
- ◆ 各行政、エンディングノートについて、じっくり計画がねられているのだと感じた。医療、福祉にかかわる人間として活動の手だすけをしていきたいと思った。
- ◆ それぞれ地域でご苦労されていると思いました。奥多野、わかりやすいですね。高齢化率すごい!!・北部、高齢者、がんばり屋さん、がまん強い人たちへの普及・サロンなどコロナ中止→うごきだしたサロン、グランドゴルフ、カラオケサークル etc グループ対象に広められると仲間と共有～明るくたのしいだろうなあ～・問題点→分析、改善くり返し参考になります・桐生エリア普及スピードいいですね！
- ◆ 各地域の状況を知ることができました。利根沼田地域や奥多野地域は、みどり市の東地区(例えば、モデル的にみどり市東地区のみ、CM さんに協力してもらい、介護サービス利用者や、独居高齢者に周知してみるのもおもしろいかもしれない。)に類似点も多く、共感できました。参考にさせていただきます。
- ◆ 各市町村様々な ACP、エンディングノートへの取り組みがされていることを知ることができた。現在の状況から今後の取り組みについてを見て、自分の出身市町村はどのような取り組みをしているのかが気になった。
- ◆ 地域ごとがんばっているなあと思いました
- ◆ 居宅の家庭訪問時にリビングウィルなど説明して欲しい。独居の場合今後どうしたらよいかも検討して欲しい。神流町、上野村、片品村は驚くばかり、日頃の医療機関に感謝です。
- ◆ よかった。エンディングノートについてもっと周知して欲しい。
- ◆ 各市にて取りくんでいるとの事、これからもがんばってください。
- ◆ 地域の特徴がある中で、それぞれの ACP への取り組みがあり、勉強になりました。
- ◆ 各市町村の取り組みはとても面白いものでした。しかし、まだまだ知っている人のみではないかと感じています
- ◆ それぞれの地域性がみえてよくわかりました
- ◆ 色々なエンディングノートがあり勉強になりました。
- ◆ 各市町村の考え方もいろいろ有、勉強になった。一方の考え方、感じ方だけではダメだと思うからそれ

それぞれの地域性での頑張りが一般市民にアピールしてほしい。

- ◆ ファイル形式のエンディングノートは見直しやすかったです。地域により、つかえる資源が少ない、在宅生活の選択肢がきびしい、自分の地域しかしらなかったのが勉強になりました。
- ◆ 前橋(大きい市)と町村の違いに驚いた。各市町村の取り組みの苦労や工夫を聞いて良かった。
- ◆ 神流町のノート、ファイル形式になっているのは良い工夫だなと思いました。(ノート形式っていうイメージが強かったのも…)
- ◆ 各市町村それぞれくふうをされそれを知ることができました。
- ◆ ノートの普及に取り組んでおられ期待したい。「元気な時から ACP」は良いですね。ノートの利用活用のPRがこれからの課題ですね。
- ◆ 各地域の特性に合った検討がなされ ACP の啓発に資するものになっていると感じました。これから普及により様々な工夫がなされていくと思うので期待したいです。エンディングノートが目的ではないという部分が行政が関与する意味だと感じ、市販のものや金融機関や保険会社が配布しているものとは大きな違いと思います。
- ◆ 各地域で地域にあったとりにくみを聞き参考になった。
- ◆ シンポジウム楽しかったです。各地域の様子が伝わりました。岡島さんのコーディネートもおみごと!!で勉強になりました!!
- ◆ 各市町村のお話しも同時にきけてよかったです。
- ◆ それぞれの市町村で創意工夫されていて一人の医療職として協力したいと思いました。
- ◆ 県内でも地域差があるな、と改めて思いました。自身の支援地域の実際をこれを機に知りたいと思いました。
- ◆ 興味があり、取り組みを知ることができて良かったです。
- ◆ 各市町村がそれぞれの特性を生かした取り組みをしており素晴らしいと思いました。
- ◆ 太田市も取り組みして欲しいと思いました。
- ◆ 自分の住む自治体では、作成していると聞いたことがありません。市町村独自で作成するものなのか、疑問もあります。県で統一等ではないんですね。皆さん、話し合っただけでそれぞれ素晴らしい物を作成し普及しようとしているのだと感じました。施設に入所する時、入院する時に持参できるとよいですね。
- ◆ 各地域の特色がみえ、楽しく聞かせていただきました。
- ◆ それぞれの地域で課題を抱えながら解決に向かっていく姿が素敵でした。
- ◆ 各市町村の違いも含め、参考にしたいことがありました
- ◆ 地域の生活状況の違いの中で住民に合わせてみなさん工夫している様子がよくわかりました。今後の活動に参考になりました。ありがとうございました。
- ◆ 市町村によって取り組み等、違いがあることを知れてよかったです。
- ◆ 人生ノート記入のお話に対しては「私はまだそういうのは」と断られ気味でしたが「元気なときから ACP」の言葉のように、明るく話しかけてみよう、と思いました。
- ◆ 見取りをやっているものとして、片品村で「在宅では死ねない」実態は今後我々が現実として受け止めなければいけない話で大いに考えさせられました。現在の医療、介護の社会基盤が現状のまま続くことを前提としての話が ACP にしても EN にしてもあるように思われ、いざという時に「そのサービスは終わりました」ということにならないようなシステム構築が必要と感じています。

- ◆ コロナの影響で啓発活動を行うのがとても大変だったと思います。職業柄病院等の入院窓口にもエンディングノートが設置してあるのをみかけます。テレビは一時よりエンディングノートの話題は見かけなくなりましたが、SNS 等活用すると若い方への啓発活動を広めると親世代まで広がる可能性もあるかもしれませんね。
- ◆ 大竹さんの「3点」は低すぎ！私は桐生市の人間ですが、平成27年に亡くなった沼田の祖父とのやりとりでは、このほほえみノートがあり、とても面白く、勉強になったのです。長く続けられている取り組みです。改訂のワーキングもされているので、せめて「8点」くらいは付けてあげてくださいな。石塚さんの「10点」はスカッとしました。同じ気持ちです。連携センターきりゅうさんには拍手喝采です。
- ◆ 沼田市から視聴させていただきました。現場の方々からのご意見大変勉強になりました。ほほえみノートは母が介護を受けていた時お世話になりいい取り組みだと感心していました。当時私は静岡にいたため月1~2回しか帰ってこれなかったのですが、ほほえみノートで認知の進行状況がよくわかり一人住まいから施設への移行判断の役に立ち感謝しています。また、新井さんのお話にありましたファイル化する方法はマネしたいです。ノートに記入するよりファイルして差し替えられるようにするアイデアはいいと思います。今日のシンポジウムで自分のエンディングノート作成の参考にしたいと思います。

4.エンディングノートサミット全体を通しての、ご意見・ご感想をご記入ください。

- エンディングノートの存在は以前より知ってはいたが「死」というものをご本人・ご家族につきつけるようなイメージが強く、さけてきていたが、今回のサミットで「この世をさりゆく方の希望をつないでいく」というイメージにかわりました。期会があれば、エンディングノートを活用していきたいと思います。
- 貴重な機会を設定していただきありがとうございました
- 事前に何回かに分けてブースのご案内をしていただくと来場時にブースを見て回れると思います。当日来場可の周知で参加できました。ありがとうございました。
- 地域でも、ノートを紹介するのやりとりがなかなか難しいと現場の方々から聞いているところです。地域で家で暮らしている比較的元気な方のみならず特養入居者に対してでさえ、話を出すのがむずかしい(介護する方が)。市町村の取り組みを伺うことができよかったです。ありがとうございました。
- 高齢になった。きいた話を書きとれないので、こうしてしゃべる内容を大きな字で書いてある資料はとてもよかったです。エンディングノート、持参すると、もっとメリットがあるようにしたら普及がすすむかと ※自宅で死にたい、現実には病院でむかえる この落差をどううめるか
- ending note というと暗い image であるがとても明るい雰囲気であった。
- エンディングノートがどこでも普通の話題となっていくよう願っています。
- 子供がいないから 男だから…と理由で家の財産を全部取られてしまいました。私(子供がいません)こんな事なくして下さい。平等にしてほしいです。
- ACP 知らなかった。エンディングノートは以前から知っていたが、個人の一方的な伝えるツールとしか理解していなかったので参考になった。
- 遺贈寄附のお話などもいかがですか？
- 良い機会を与えてもらえました。
- ちょっと遠かったですが、会場参加できて良かったです。
- 必要性について強く感じた
- 死に対する認識が変わった。暗いイメージ→旅立ちの明るいイメージに考えが変わる。エンディングノートの周知をしたい。本日の情報を共有し、私生活や業務に活かしていきたい。
- 参考になりました。書き込み、身近なものとして普及していきたいと思います。
- 講師、パネラーの方々の取り組みに感謝。自分の最後の時をしっかりとみつめて、エンディングノートの取り組みをすすめたい。
- とても良いサミットでした。仕事だけではなく、親や友人、そして私自身においても死生観と向きあう時間になりました。大切な人としてしっかりと話がしたくなりました。ありがとうございました。
- 財産(相続)中心のエンディングノートをイメージしていましたが、改めて ACP の視点からのノートづくりの重要性を認識しました
- 地域が深まりました。来て良かったです。
- あまねや様の「亡くなくても、まだしてあげられることがあるという希望」は、エンディングノートの必要性につながるというお話、すごく納得しました。
- 色々な人からの意見や取り組みを知る機会が勉強になりました。
- ACP のとっかかりとしては大変いい内容であった。ワークの時間があれば良かったと思う。

- とても良かったです。今日出席して良かった。
- とても勉強になりました。ありがとうございました。
- 自分の尊厳を守るためのエンディングノート、ACP の考え方が地域住民に広がっていくとよいなと思いました！
- 地元ではなく、他の地域の異なるご意見を聴取出来、取組みに意欲が出て来ました。
- 全体的に興味深い内容でした。横文字は何とかならないですかね？
- 死ぬ前に色々決めておくことの大切さを感じたが、決めることが大変なことも感じた。ACP を決めていくにあたり、経済的視点(かかる費用等)もあるとよりよかったと思う。医療介護分野だと女性の方が活躍していることがよくわかりました。医師以外の男性発表者がいても良かったと思う。
- 地域に合わせたエンディングノート作成の大変さや周知への大変さを感じた。まだまだ周囲で ACP について知らない人も多いので出前講座が多くできると良いと思う。
- 関わる方たちが人々がより良くなるために考えてこのサミットがあると思い感謝の気持ちでいっぱいです。成人期にも必要と思いました。若いと死が自分ごとにならない現実もありそうですが、それぞれの人が自身の死を想うことで生がイキイキしそうだと感じました。FM きりゅうパーソナリティ石原ミチさんからの紹介で参加しました。47 歳 女 桐生在住
- 大変良い企画だと思いました。もっと多くの人に参加してもらえると良いと思った。
- よくある事なのですが、何年かに 1 回開催地域となり開催のない年が数年続くと、目や耳にする機会も減りモチベーションが下がってしまうので、小さい「人生会議を語る会」をやってもらえると良いです。
- とても勉強になりました。ありがとうございました。
- ACP とエンディングノート、グリーフケア、4 市町村の取り組みといった多角的に捉える、考える機会となりました。ありがとうございました。
- なかなか死についての勉強できないためいい機会でした
- お疲れ様でした。
- 大変参考になりました。
- 参考になりました(70 代夫婦で参加)
- エンディングノートに対するイメージが少し変わりました。今後、前向きに活用できるとよいと思います。
- 今後も必要なサミットと思う
- 高齢者に対して「ACP」という言葉が少し難しいのではないかと感じました。いつかエンディングノートを書く事が当たり前という日が来ると良いなと思ってます。
- とてもすばらしい会でした。まだ 30 代ですが、色々な人に知って頂けたらと思いました。
- ありがとうございました。参加して良かったです。自分も ACP を世間に広めたい一員として参加させて頂きました(コミュニティナースという活動、くらしのほけん、サロン参加などの機会にとりくみたい)・待ってるはダメ、おいておくもダメ、こちらから伝えにくい動きにしないと群馬の多くの地域はおいつかないと感じています。参考になりました。ありがとうございました。自分の中ではゴミの分別と同じくらいいろんな世代でエンディングノート知ってほしいと思っています。施設内でもどんどん広めていいですよね？入所契約など fa いるときに
- ACP とエンディングノートはもちろん理解していましたが、改めて意義を再確認できました。それだけではなく、自分がこれまで理解していたものより、より重要なものであると改めて理解させていただき

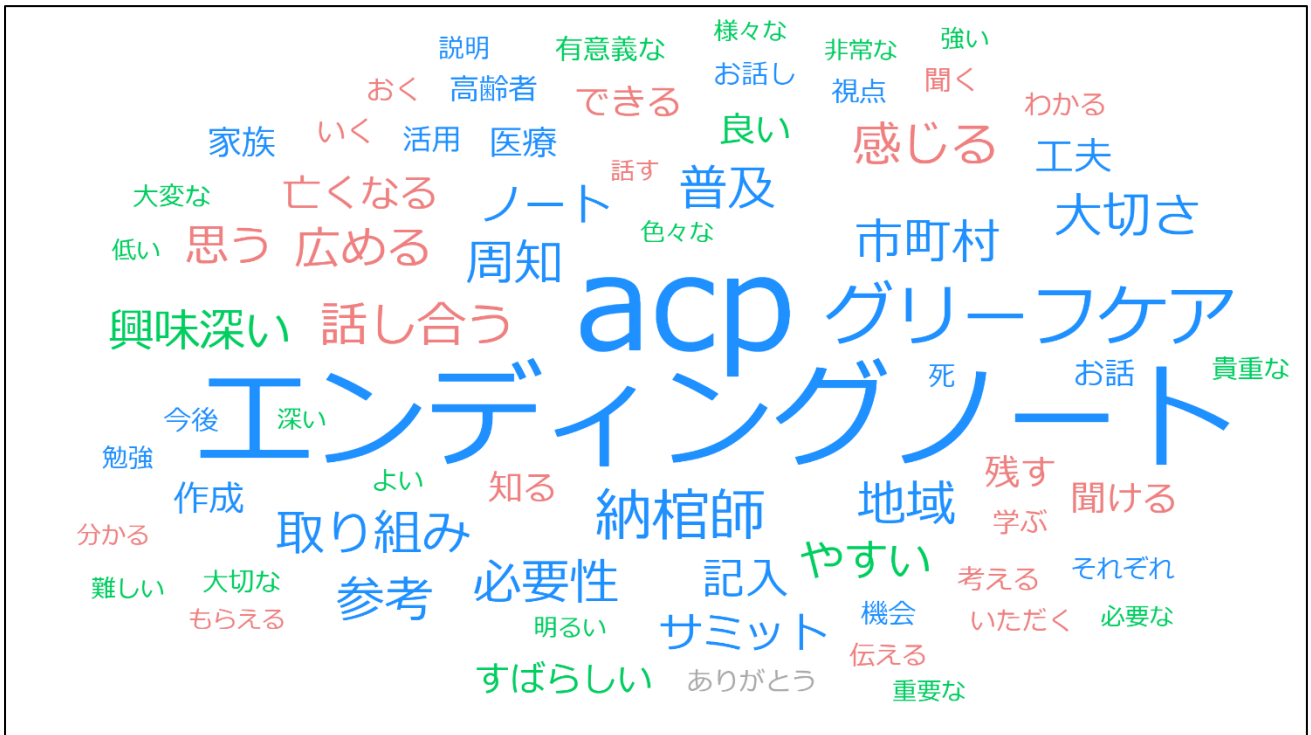
ました。また自分の考えを改めることができました。(自分の考えの中には、どこかに「死について話すことは縁起が悪い」という気持ちがありました。)ありがとうございました。大変有意義なイベントと感じました。

- 今回のエンディングノートサミットに参加して、実際に自分もエンディングノートを記入してみたいと思うようになった。また家族、もしくは親しい人々と今後について話し合いをして、それぞれの意思の伝え合いをしたいと感じた。
- ACPについて、家族等で話しあうことを心掛けたい
- 8050 問題なども今後お願いします。ハイフレックスはすばらしいです。さすが小川様です。香取様、田村様お疲れ様でした。
- よかった。ベンキょうになりました。
- 大変参考に成りました。準備された事わかります。
- とても必要な研修だと感じました。今の時代に合わせてくり返し実施することで各地域に広がっていくことを望みます。
- 前向きな取組がたくさん聞けました
- 色々な方の話しを聞くことができ、大変参考になりました。このような研修会を開催していただき、ありがとうございました。
- まだ勉強不足。考え方も変えないと
- 地域でのつながりが大切だと、初めて感じました。公民館で ACP の事も伝えてほしい。
- ケアマネをしています。常に死に向きあうタイミングをどのタイミングで伝えていいのか悩んでました。常に見直すべきだとわかり、ご利用者、家族様と知りあったタイミングでこれからはお話していこうと思いました。それから自分も記入してみようと思います。
- まず、家族と考える、話しをしてみたいと思った。エンディングノートは具体的な話を進めるうえに大変有意義と思いました。
- 各市での取りくみが色々工夫されていると思いました。
- 人生の最後に向き合う機会をもらえました
- このノートを作成する年齢を考える 今日参加者は少し若い専門職の方が多いように思った。実際に必要、残さなければならない年齢層の方の参加やお話の機会が必要なのではと思った。話し方がしっかりして大変聞きやすくて良かったです。桐生は高齢化率が高いのでノートの取り組みもいろいろ研究しているなと感じた。当方 78 才で大変参考になりました。
- 他地域の違い、比較出来て良かった。今後私自身のノートを書き止めたいと思います。ありがとうございました。
- この様な話や機会は何度でもお聞きしたいし参加したいです。寒かったです。
- 各地域でとりくんでいる情報を聞き、今後の活動の参考にしたい。
- とても有意義なサミットでした!!ありがとうございます。関係者の皆様大変お疲れ様でした。
- 生きることを一緒に深く考え死ぬことに最期まで寄り添える人間でありたいと思います。素晴らしいセミナーありがとうございました。
- 県内各地域の情報が知られ、またユーチューブ配信していただけたことで手軽に参加できました。ありがとうございました。

- 今後に非常に役立つと思いました。
- 沢山の方が視聴していらっしゃいました。エンディングノートや ACP を行う事が普通になっていくと良いなあと思いました。
- 話し合いの必要性を利用者様、ご家族にお話しし、普及できるようにしたいと思いました。貴重なお話、ありがとうございました。
- 良かったです。ありがとうございました。
- 貴重な機会をありがとうございました。ライブ配信助かります。
- 高齢者にとって「死」の言葉が御法度のような雰囲気があります。しかしながら必ず最期は来るものなので特に一人暮らしの方や身寄りがない方に考えてもらえる機会を作っていこうと思いました。
- とても良かったです
- パネリスト、シンポジスト、コーディネーターの皆さまみんながわかりやすく説明していただき、良かったです。今後の参考になりました。お疲れさまでした。
- ケアマネをしています。今日のサミットを視聴して考えることがたくさんありました。利用者様らしく生きる支援をするには、最後をどう迎えたいかの話をする必要性があると思いました。『死』についてはタブー視してしまっていますが、誰にも必ず訪れることだからこそ、信頼関係を構築し生活を支援する者として、しっかり家族で話し合う機会やご本人の思いを聴ける仕事をしていきたいと思いました。ACP については若い世代にも、普及させていく必要性を感じました。
- 高齢者が増加し高齢者世帯が増えている今、人生の最期をどう迎えたいかと考えることはとても大切なこと。大切な家族が困らないよう、利用者様にもエンディングノートを勧めていこうと思いました。
- この話は終わりがありません。継続を期待します。
- 大変お疲れ様でした。どの世代の多くの方が「ACP」が知ってもらえるようになるといいですね。
- 全体の構成も内容もすごく良かったです。貴重な時間となりました。私も今後 ACP にあたり、「育てていくエンディングノート」「日常の様子の共有」を意識していきたいなと思いました。ありがとうございました。
- 昨年 52 年ぶりに群馬県民に戻って浦島太郎状態ですが、群馬県のこのような取り組みは素晴らしいと思います。私も 70 才になりエンディングノート作成がリアルな問題になってきました。参加させていただき感謝申し上げます。

テキストマイニング

【ワードクラウド】



【単語出現頻度(名詞)】

名詞	スコア	出現頻度
エンディングノート	706.25	67
acp	576.55	44
地域	67.87	44
参考	33.31	35
家族	16.47	35
納棺師	212.88	29
お話し	13.15	29
勉強	6.11	27
取り組み	111.56	26
大変	4.07	25
ノート	25.30	23
機会	8.13	22
今後	7.63	20
市町村	86.68	19
大切	6.83	18

【単語出現頻度(動詞)】

動詞	スコア	出現頻度
思う	9.29	129
できる	5.25	65
感じる	10.35	45
知る	4.97	45
いく	2.09	33
考える	1.62	24
聞く	1.40	24
わかる	0.63	18
おく	1.54	16
話し合う	25.21	14
残す	4.95	14
いただく	1.36	14
聞ける	5.56	13
話す	0.87	11
亡くなる	5.20	10

【単語出現頻度(形容詞)】

形容詞	スコア	出現頻度
良い	5.26	63
よい	1.30	25
わかりやすい	10.96	14
いい	0.05	8
難しい	0.39	7
強い	0.21	7
ほしい	0.15	7
多い	0.14	7
興味深い	5.97	6
分かりやすい	3.59	6
欲しい	0.08	6
すばらしい	3.77	5
明るい	0.60	4
低い	0.36	4
深い	0.20	3

桐生・みどり地区版エンディングノート「わたしのきぼう」配布先一覧(令和元年度～令和5年度)

No.	日付	配布先	配布部数	配布累計	残り部数	備考
	R1.12.24				7,650	正式版納品、50部サービス
1	R1.12.25	桐生市医師会事務局	10	10	7,640	
2	R1.12.25	桐生市長寿支援課	10	20	7,630	
3	R1.12.25	みどり市介護高齢課	10	30	7,620	
4	R1.12.25	在宅医療介護連携センター職員	3	33	7,617	
5	R1.12.27	高橋理事	3	36	7,614	
6	R2.1.7	群馬県弁護士会	5	41	7,609	郵送
7	R2.1.7	群馬県司法書士会	5	46	7,604	郵送
8	R2.1.7	群馬県社会福祉士会	5	51	7,599	郵送
9	R2.1.7	コスモス成年後見サポートセンター群馬県支部	5	56	7,594	郵送
10	R2.1.7	関東信越税理士会群馬県支部連合会	5	61	7,589	郵送
11	R2.1.7	群馬県社会保険労務士会	5	66	7,584	郵送
12	R2.1.7	桐生市社会福祉協議会	5	71	7,579	郵送
13	R2.1.7	みどり市社会福祉協議会	5	76	7,574	郵送
14	R2.1.14	高崎市医療介護連携相談センター南大類	5	81	7,569	
15	R2.1.14	おうちで療養相談センターまえばし	5	86	7,564	
16	R2.1.14	渋川地区在宅医療介護連携支援センター	5	91	7,559	
17	R2.1.14	医療介護連携センターふじおか	5	96	7,554	
18	R2.1.14	在宅医療介護連携センターいせさき・たまむら	5	101	7,549	
19	R2.1.14	ぬまたとね医療・介護連携相談室	5	106	7,544	
20	R2.1.14	かぶら在宅療養ネットワークセンター	5	111	7,539	
21	R2.1.14	太田市在宅医療介護連携センター	5	116	7,534	
22	R2.1.14	在宅医療相談室あんなか	5	121	7,529	
23	R2.1.14	群馬県地域包括ケア推進室	5	126	7,524	
24	R2.1.15	高崎市医療介護連携相談センターたかまつ	5	131	7,519	郵送
25	R2.1.15	渋川地区在宅医療介護連携支援センター	5	136	7,514	郵送
26	R2.1.15	在宅医療介護連携相談センターたておう	5	141	7,509	郵送
27	R2.1.15	みどり市地域包括支援センター笠懸	5	146	7,504	
28	R2.1.15	みどり市地域包括支援センター大間々	5	151	7,499	
29	R2.1.15	みどり市地域包括支援センター東	5	156	7,494	
30	R2.2.13	エンディングノート普及啓発に関する準備委員会	10	166	7,484	
31	R2.2.27	武蔵野病院	5	171	7,479	
32	R2.3.16	太田医療技術専門学校	50	221	7,429	
33	R2.9.3	前川佳彰先生	2	223	7,427	
34	R2.10.6	みどり病院	5	228	7,422	
35	R2.10.29	桐生・みどり市内病院	15	243	7,407	
36	R2.11.6	桐生厚生総合病院	15	258	7,392	
37	R2.11.12	みどり市包括	4	262	7,388	
38	R2.11.24	桐生社協	100	362	7,288	
39	R2.11.24	みどり社協	100	462	7,188	
40	R2.11.24	桐生市包括	450	912	6,738	
41	R2.11.24	みどり市包括	150	1,062	6,588	
42	R2.11.24	桐生厚生総合病院	50	1,112	6,538	
43	R2.11.24	東邦病院	50	1,162	6,488	
44	R2.11.25	恵愛堂病院	50	1,212	6,438	
45	R2.11.25	高木病院	50	1,262	6,388	
46	R2.11.25	岩下病院	50	1,312	6,338	
47	R2.11.26	日新病院	50	1,362	6,288	
48	R2.11.25	大和病院	50	1,412	6,238	
49		岸病院	50	1,462	6,188	
50		桐生整形外科病院	0	1,462	6,188	
51	R2.11.24	みどり病院	50	1,512	6,138	
52	R2.11.25	篠原クリニック	50	1,562	6,088	
53	R2.11.26	両毛整肢療護園	50	1,612	6,038	

桐生・みどり地区版エンディングノート「わたしのきぼう」配布先一覧(令和元年度～令和5年度)

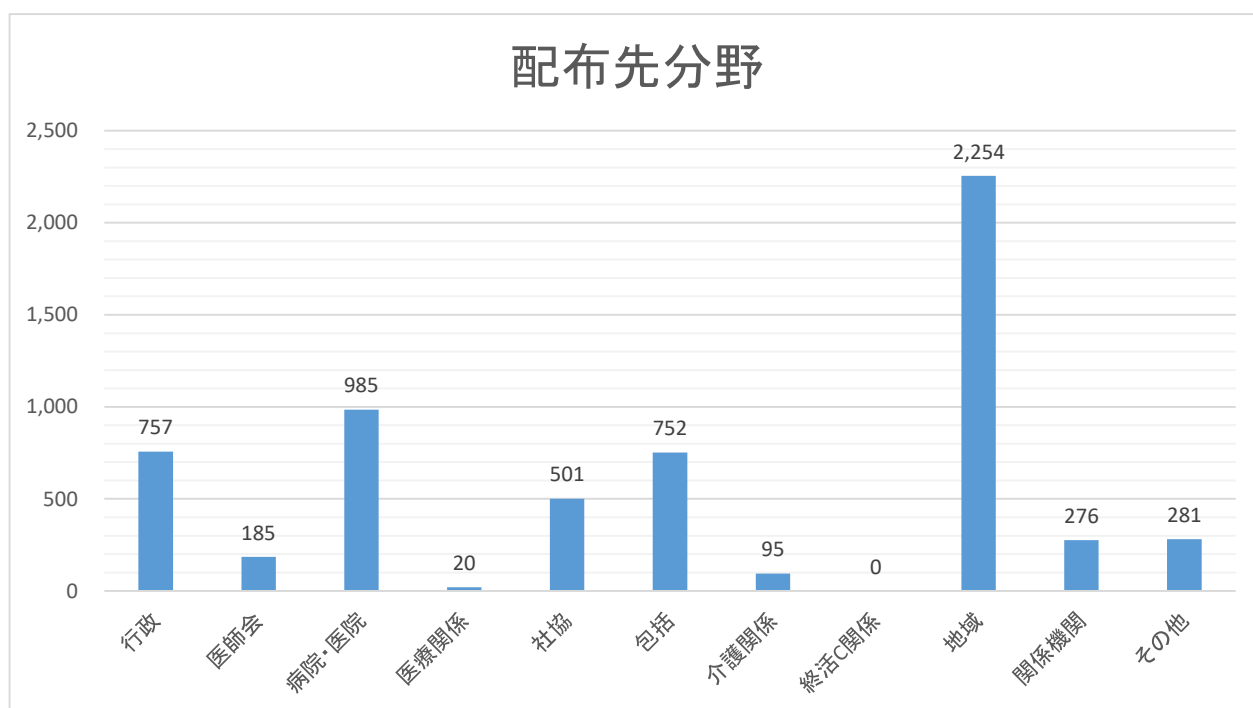
No.	日付	配布先	配布部数	配布累計	残り部数	備考
54	R2.11.26	山口クリニック	50	1,662	5,988	
55	R2.11.24	桐生市	100	1,762	5,888	
56	R2.11.24	みどり市	100	1,862	5,788	
57		桐生市医師会	50	1,912	5,738	
58	R2.11.26	助成金審査員	5	1,917	5,733	
59	R2.12.11	医師会部署連絡会議内	6	1,923	5,727	
60	R2.12.14	桐生市役所	100	2,023	5,627	
61		みどり市役所	100	2,123	5,527	
62	R2.12.21	医師会理事協議会	10	2,133	5,517	
63	R2.12.21	医師会例会	17	2,150	5,500	
64	R2.1.12	桐生市民生児童委員協議会	30	2,180	5,470	
65	R2.1.13	桐生市11区民生児童委員協議会	125	2,305	5,345	
66	R2.1.15	桐生市役所	20	2,325	5,325	
67	R3.3.18	桐生市役所	100	2,425	5,225	
68	R3.6.2	桐生高看	29	2,454	5,196	
69	R3.7.21	わたらせ虹の会	20	2,474	5,176	
70	R3.8.5	株式会社 瀬尾医療連携事務所	3	2,477	5,173	
71	R3.8.26	特別養護老人ホームサンライズさかいの	70	2,547	5,103	
72	R3.10.11	桐生市	20	2,567	5,083	
73		みどり市役所	50	2,617	5,033	
74	R3.10.22	桐生高看学生	25	2,642	5,008	
75	R3.11.8	桐生市役所	30	2,672	4,978	
76	R3.11.11	医師会検査部(須永さん)	2	2,674	4,976	
77	R3.11.12	みどり病院	50	2,724	4,926	
78	R3.12.8	桐生厚生総合病院	50	2,774	4,876	
79	R4.1.11	相生婦人会	18	2,792	4,858	
80	R4.1.14	相生公民館参加者	5	2,797	4,853	
81	R4.1.18	日本生命	1	2,798	4,852	
82	R4.2.17	白川 実	1	2,799	4,851	
83	R4.3.1	桐生大学	90	2,889	4,761	
84	R4.3.24	阿部医院	5	2,894	4,756	
85	R4.4.5	みどり市介護予防教室(7区公民館)	36	2,930	4,720	
86	R4.4.6	共同募金会	70	3,000	4,650	
87	R4.4.4	市民	5	3,005	4,645	
88	R4.4.7	みどり市介護予防教室(3区公民館)	26	3,031	4,619	
89	R4.4.7	居宅関口さんご両親	2	3,033	4,617	
90	R4.4.8	みどり市介護予防教室(1区公民館)	20	3,053	4,597	
91	R4.4.12	みどり市介護予防教室(5区公民館)	24	3,077	4,573	
92	R4.4.13	みどり市介護予防教室(4区公民館)	45	3,122	4,528	
93	R4.4.22	みどり市介護予防教室(2区公民館)	35	3,157	4,493	
94	R4.5.10	みどり市介護予防教室(6区公民館)	35	3,192	4,458	
95	R4.5.23	広沢町市民	15	3,207	4,443	
96	R4.5.24	みどり市介護予防教室(8区公民館)	17	3,224	4,426	
97	R4.5.25	みどり市介護予防教室(10区公民館)	20	3,244	4,406	
98	R4.5.26	みどり市介護予防教室(9区公民館)	47	3,291	4,359	
99	R4.6.10	みどり市役所	30	3,321	4,329	
100	R4.6.15	みどり市社会福祉協議会 茶話会	18	3,339	4,311	
101	R4.7.22	高齢者大学	137	3,476	4,174	
102	R4.7.20	第12区老人クラブ	29	3,505	4,145	
103	R4.7.27	菱ふれあい学級	27	3,532	4,118	
104	R4.7.6	神流町地域包括支援センター	3	3,535	4,115	
105	R4.7.6	上野村地域包括支援センター	3	3,538	4,112	
106	R4.8.23	中央公民館	5	3,543	4,107	
107	R4.9.13	ローズヴィレッジ	20	3,563	4,087	

桐生・みどり地区版エンディングノート「わたしのきぼう」配布先一覧(令和元年度～令和5年度)

No.	日付	配布先	配布部数	配布累計	残り部数	備考
108		桐生市地区公民館サークル連絡協議会	5	3,568	4,082	
109		シルバーアクト	1	3,569	4,081	
110	R4.9.15	下山内科医院(新井さん)	20	3,589	4,061	
111	R4.9.28	中央公民館	57	3,646	4,004	
112	R4.10.4	ぐんまパソコン倶楽部	31	3,677	3,973	
113	R4.11.19	高崎市高齢者あんしんセンター希望館	100	3,777	3,873	
114	R4.10.17	ぐんまパソコン倶楽部	22	3,799	3,851	
115	R4.10.15	桐生地区難病友の会	20	3,819	3,831	
116	R4.10.15	桐生高看	30	3,849	3,801	
117	R4.10.25	桐生市役所	30	3,879	3,771	
118	R4.10.28	下山内科医院	20	3,899	3,751	
119	R4.11.8	桐生市役所	30	3,929	3,721	
120	R4.11.17	桐生市役所	40	3,969	3,681	
121	R4.11.21	なかよしカフェ	25	3,994	3,656	
122	R4.11.22	なかよしカフェ	50	4,044	3,606	
123	R4.11.30	町組いきいき活動	25	4,069	3,581	
124	R4.12.16	くろほね交流会	31	4,100	3,550	
125	R4.12.8	訪問看護ステーションきりゅう	15	4,115	3,535	
126	R4.12.15	みどり市役所	30	4,145	3,505	
127	R4.12.26	みどり市役所	20	4,165	3,485	
128	R5.2.6	大間々9区女性部	29	4,194	3,456	
129	R5.2.14	川内5-2町会ふれあいサロン	41	4,235	3,415	
130	R5.2.14	みどり市介護予防教室(大間々)	23	4,258	3,392	
131	R5.2.16	(高崎市)貝沢町通町内会いきいきサロン	40	4,298	3,352	
132	R5.2.21	シルバーアクト	20	4,318	3,332	
133	R5.2.21	桐生市社会福祉協議会	10	4,328	3,322	
134	R5.4.10	NPO法人 リンリッサ	10	4,338	3,312	
135	R5.4.20	みどり市 6区公民館	18	4,356	3,294	
136	R5.4.25	みどり市 小平公民館	14	4,370	3,280	
137	R5.4.25	桐生市地域包括支援センター山育会	13	4,383	3,267	
138	R5.4.26	みどり市 14区集会所	11	4,394	3,256	
139	R5.4.26	ACPワーキンググループ	15	4,409	3,241	
140	R5.4.29	アースデイ	15	4,424	3,226	
141	R5.5.8	ローズヴィレッジ 小林さん	2	4,426	3,224	
142	R5.5.11	みどり市 1区公民館	26	4,452	3,198	
143	R5.5.19	みどり市 12区集会所	21	4,473	3,177	
144	R5.5.19	ネットワーク会議(ユートピア広沢)	33	4,506	3,144	
145	R5.6.2	みどり市 福岡中央公民館	7	4,513	3,137	
146	R5.6.13	群馬郡医師会	20	4,533	3,117	
147	R5.6.16	桐生大学 講義	80	4,613	3,037	
148	R5.6.22	菱公民館 菱高齢者学級	27	4,640	3,010	
149	R5.6.23	みどり市 多世代交流館	20	4,660	2,990	
150	R5.6.27	居宅きりゅう 松田さん 利用者	3	4,663	2,987	
151	R5.7.4	キャラバンメイト	2	4,665	2,985	
152	R5.7.5	県内連携センター	10	4,675	2,975	
153	R5.7.14	桐生市中央公民館 高齢者大学	210	4,885	2,765	
154	R5.7.19	みどり市民生委員児童委員協議会	150	5,035	2,615	
155	R5.7.19	桐生要約筆記会	19	5,054	2,596	
156	R5.7.20	みどり市 神梅公民館	23	5,077	2,573	
157	R5.7.20	みどり市役所	52	5,129	2,521	
158	R5.7.25	桐生市役所	30	5,159	2,491	
159	R5.7.25	アルファプラザ フレンドミツバ	30	5,189	2,461	
160	R5.7.27	川内公民館 川内高齢者学級	80	5,269	2,381	
161	R5.8.8	みどり市 いきいきセンター	17	5,286	2,364	

桐生・みどり地区版エンディングノート「わたしのきぼう」配布先一覧(令和元年度～令和5年度)

No.	日付	配布先	配布部数	配布累計	残り部数	備考
162	R5.8.10	みどり市 11区公民館	20	5,306	2,344	
163	R5.9.7	北公民館	25	5,331	2,319	
164	R5.9.12	大和病院	20	5,351	2,299	
165	R5.9.12	みどり市 東公民館	29	5,380	2,270	
166	R5.9.20	昭和公民館	40	5,420	2,230	
167	R5.9.27	昭和公民館	24	5,444	2,206	
168	R5.10.13	桐生看護学校	30	5,474	2,176	
169	R5.10.16	首都医校介護福祉学科	30	5,504	2,146	
170	R5.10.19	桜木西公民館	48	5,552	2,098	
171	R5.11.1	サロン天沼	23	5,575	2,075	
172	R5.11.2	大間々16区福祉部会	23	5,598	2,052	
173	R5.11.20	なかよしカフェ	50	5,648	2,002	
174	R5.11.27	高齢者生活福祉センターまごころ	94	5,742	1,908	
175	R5.12.6	沢入地区共同交流生活ハウス「いきがい」	16	5,758	1,892	
176	R5.12.7	花輪一区集会所	21	5,779	1,871	
177	R5.12.8	花輪三区集会所	13	5,792	1,858	
178	R5.12.11	草木地区住民センター	10	5,802	1,848	
179	R5.12.14	小夜戸集会所	8	5,810	1,840	
180	R5.12.19	人権講演会	100	5,910	1,740	
181	R5.12.22	くろほね交流会	16	5,926	1,724	
182	R6.1.13	エンディングノートサミット	84	6,010	1,640	
183	R6.1.15	小中集会所	2	6,012	1,638	
184	R6.1.17	花輪二区集会所	7	6,019	1,631	
185	R6.1.18	座間集会所	3	6,022	1,628	
186	R6.1.23	荻原生活改善センター	8	6,030	1,620	
187	R6.1.25	神戸生活改善センター	11	6,041	1,609	
188	R6.2.16	宿廻集会所	11	6,052	1,598	
189	R6.2.17	多機能型事業所うたたね。(株式会社ポリム・ラボ)	17	6,069	1,581	
190	R6.3.12	大間々地区13区公民館	45	6,114	1,536	
191	R6.3.22	水沼サロン	11	6,125	1,525	



エンディングノート出前講座アンケート集計結果(令和4年度～5年度)

出前講座参加人数

令和3年度	0 人	(この形式では実施していない)
令和4年度	648 人	
令和5年度	809 人	
合計	1,457 人	

アンケート回収数 1,072 部

アンケート回収率 73.6 %

【アンケート用紙】

エンディングノート出前講座 アンケート

(1)年 代 10代 20代 30代 40代 50代 60代 70代 80代 90代以上

(2)性 別 男性 女性

(3)居住地 桐生市 みどり市 その他 ()

(4)出前講座のテーマや講義はいかがでしたか

満足 やや満足 まあまあだった やや不満 不満

(5)印象に残った「言葉」を教えてください。(複数選択可)

アドバンス・ケア・プランニング 人生会議 エンディングノート 終活 遺言書

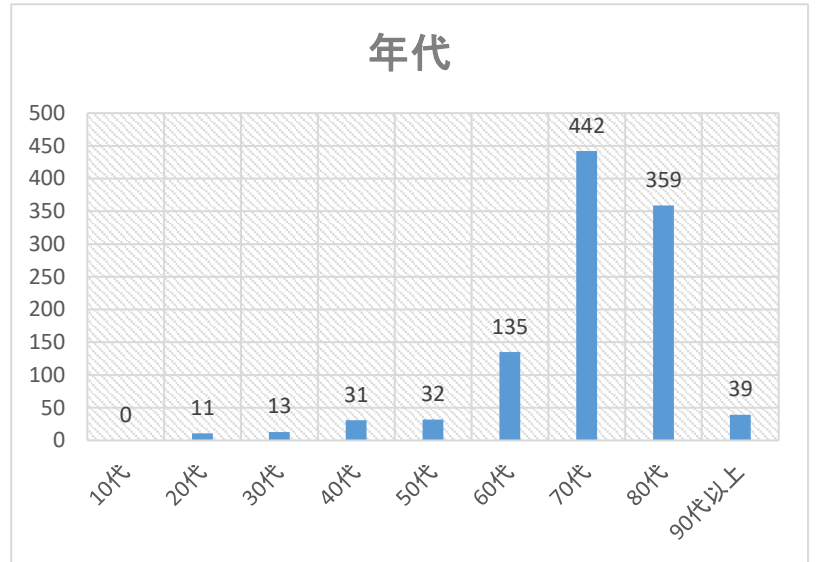
話し合い 自分のこと 病気 介護 葬式 お墓 延命治療 わたしのきぼう

(6)その他、ご意見・ご感想をご自由にご記入ください。

(1)年代

	度数	%
10代	0	0.0%
20代	11	1.0%
30代	13	1.2%
40代	31	2.9%
50代	32	3.0%
60代	135	12.6%
70代	442	41.2%
80代	359	33.5%
90代以上	39	3.6%

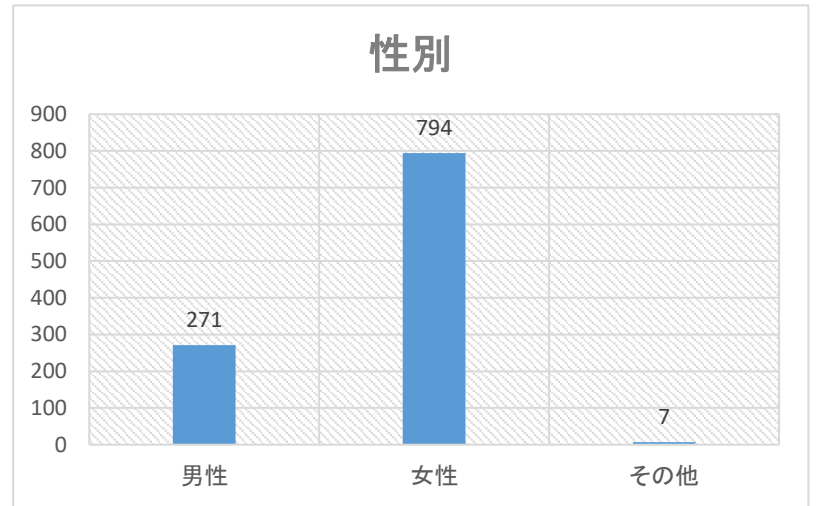
欠損値(未記入等) 10 13.6%



(2)性別

	度数	%
男性	271	25.3%
女性	794	74.1%
その他	7	0.7%

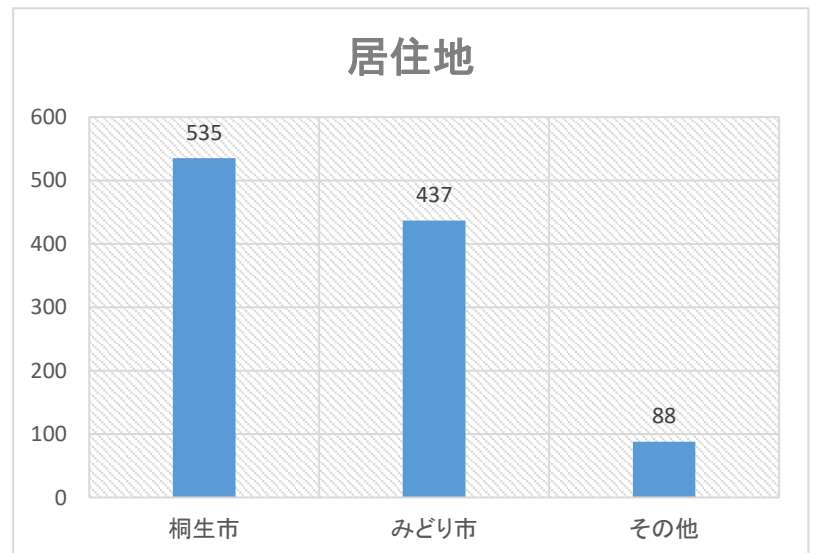
欠損値(未記入等) 0 0.0%



(3)居住地

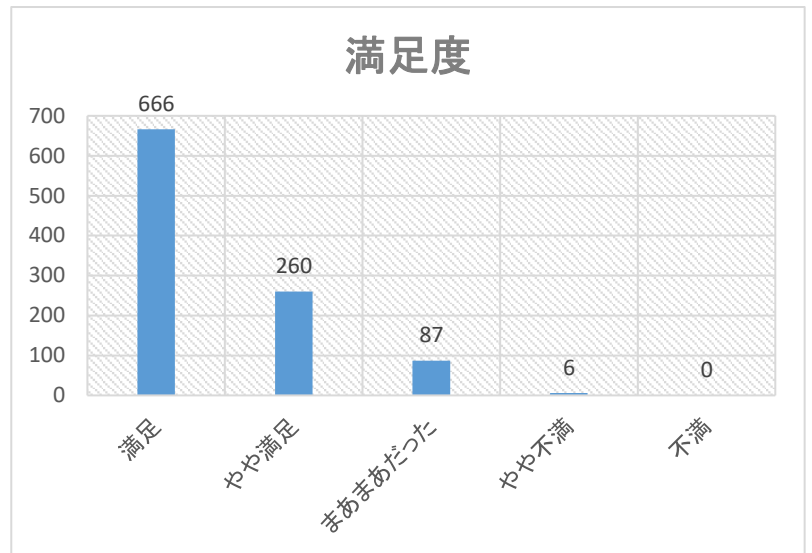
	度数	%
桐生市	535	49.9%
みどり市	437	40.8%
その他	88	8.2%

欠損値(未記入等) 12 1.1%



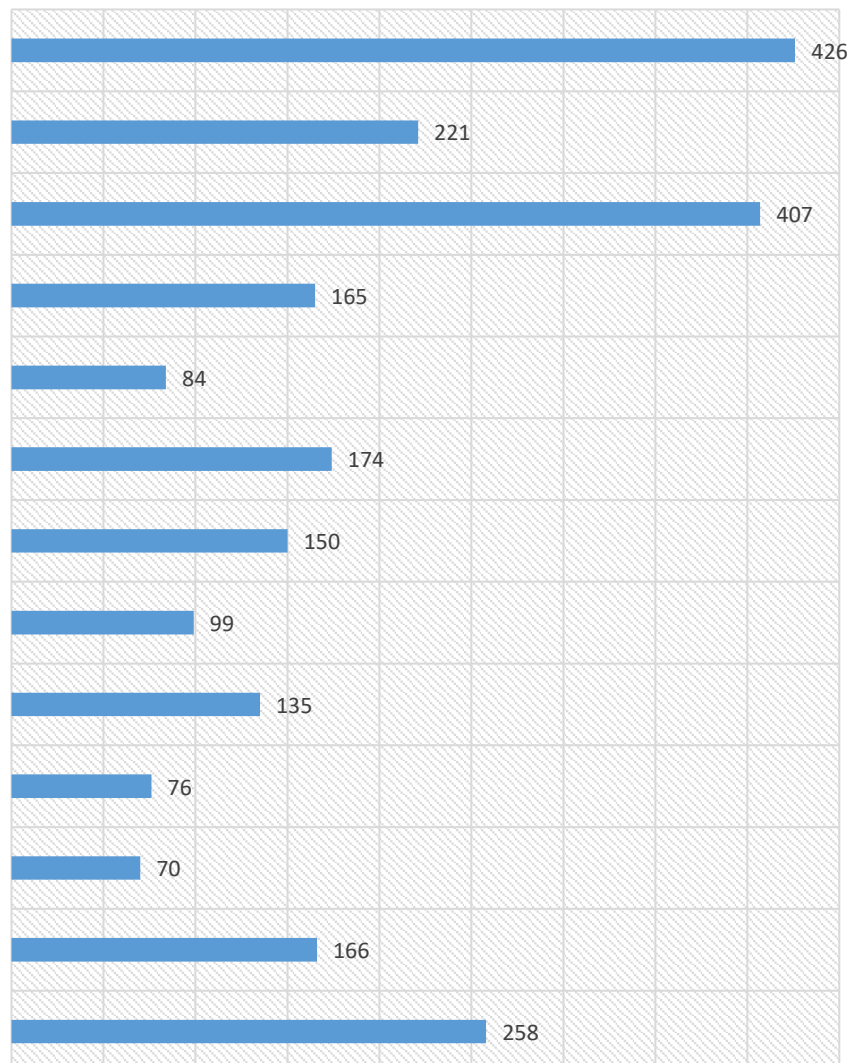
(4)満足度

	度数	%
満足	666	62.1%
やや満足	260	24.3%
まあまあだった	87	8.1%
やや不満	6	0.6%
不満	0	0.0%
欠損値(未記入等)	53	4.9%



(5)印象に残った言葉(複数選択可)

	度数	%
アドバンス・ケア・プランニング	426	39.7%
人生会議	221	20.6%
エンディングノート	407	38.0%
終活	165	15.4%
遺言書	84	7.8%
話し合い	174	16.2%
自分のこと	150	14.0%
病気	99	9.2%
介護	135	12.6%
葬式	76	7.1%
お墓	70	6.5%
延命治療	166	15.5%
わたしのきぼう	258	24.1%

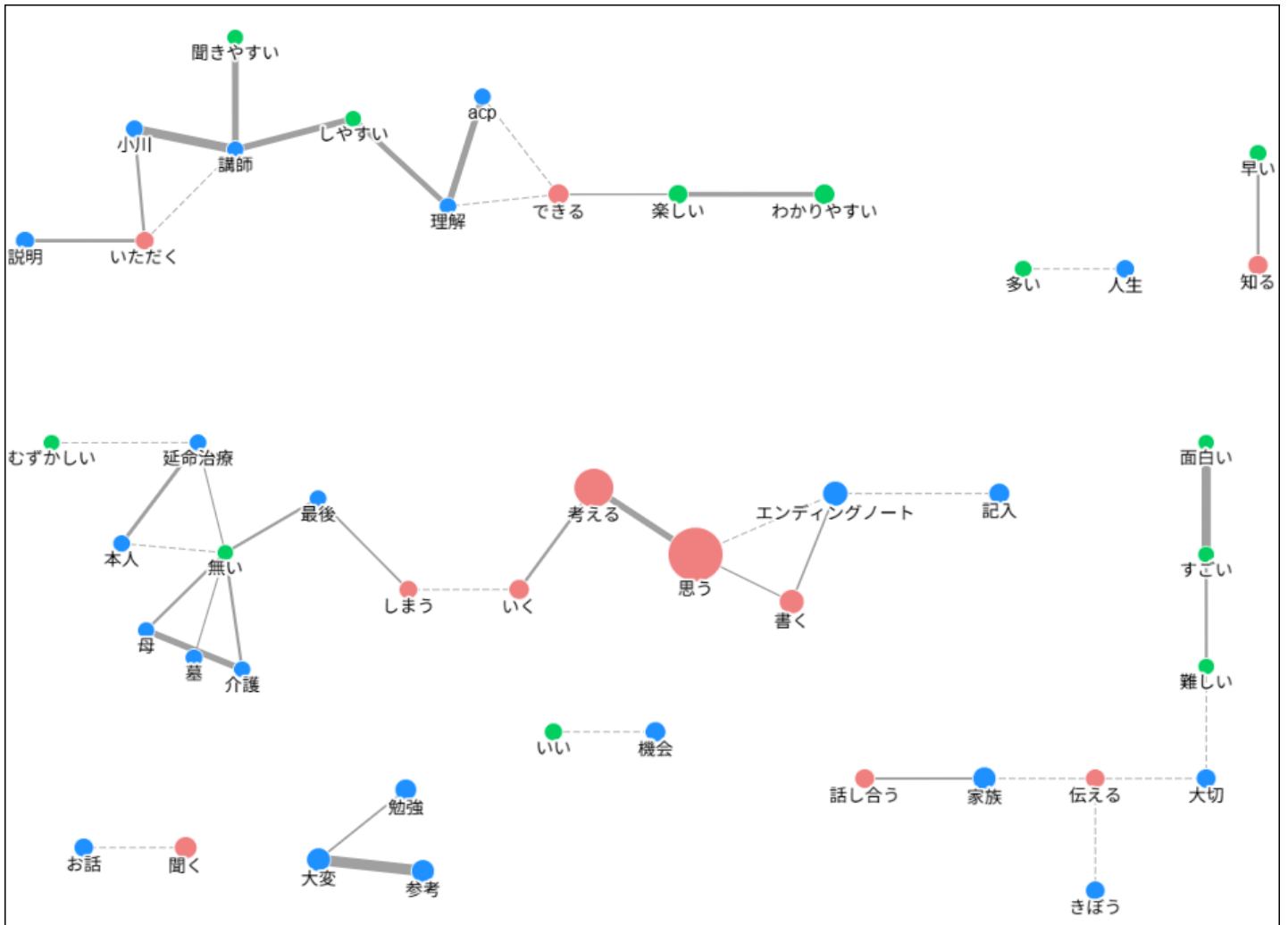


【単語出現頻度】

■ 名詞	スコア ▲	出現頻度 ▲	■ 動詞	スコア ▲	出現頻度 ▲
エンディングノート	414.45	42	思う	10.46	137
大変	8.24	36	考える	18.83	84
家族	15.61	34	書く	5.06	32
参考	30.08	33	聞く	1.40	24
勉強	6.11	27	おく	2.38	20
記入	65.66	23	できる	0.46	19
機会	8.13	22	出来る	0.86	18
講座	38.61	21	話す	2.05	17
必要	3.13	19	いく	0.56	17
大切	6.83	18	知る	0.64	16
きぼう	104.33	17	話し合う	28.09	15
終活	70.89	17	伝える	4.07	14
お話	4.81	17	感じる	0.91	13
ノート	13.51	16	わかる	0.33	13
説明	5.40	15	いただく	0.85	11

■ 形容詞	スコア ▲	出現頻度 ▲	■ 感動詞	スコア ▲	出現頻度 ▲
良い	3.88	54	ありがとう	8.66	82
わかりやすい	17.03	18	有難う	1.61	5
よい	0.54	16	すみません	0.01	1
楽しい	0.46	14	なるほど	0.01	1
いい	0.06	9	---	---	---
多い	0.14	7	---	---	---
早い	0.13	7	---	---	---
分かりやすい	3.59	6	---	---	---
聞きやすい	10.16	4	---	---	---
むずかしい	2.76	4	---	---	---
しやすい	1.01	4	---	---	---
難しい	0.13	4	---	---	---
すごい	0.04	4	---	---	---
明るい	0.34	3	---	---	---
短い	0.28	3	---	---	---

【共起キーワード】



AI テキストマイニング by ユーザーローカル

<https://textmining.userlocal.jp/>

Chat GPT 4o

<https://chatgpt.com/>